

哲学I					単位数	2単位
授業コード	12015	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	袴田 渉					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	本講義は、今日を生きる私たちの世界観・人間観にも深い影響を及ぼす古代西洋哲学の歴史を知るとともに、古代を生きた人びとが「世界」や「自己」を問い合わせ、考えてきたその仕方を、具体的なテクストの言葉を通して学ぶ。					
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	古代哲学の歴史の流れを理解している。			知識・技能		
2	哲学者たちの考える仕方にならい、自分で物事を考えることができる。			思考・判断・表現力／主体性		
3						
4						
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	授業への取り組み度 30%			1		
2	期末レポート 70%			1/2		
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
1 イントロダクション 2 哲学の始まり (1) : タレス 3 哲学の始まり (2) : タレスの弟子たち (ミレトス学派) 4 哲学の始まり (3) : ビュタゴラス 5 哲学の始まり (4) : ヘラクレイオス 6 「ある」ということ : パルメニデス 7 多元論 (1) : エンペドクレス 8 多元論 (2) : アナクサゴラス 9 多元論 (3) : デモクリトス 10 ソフィストたち (1) : プロタゴラス 11 ソフィストたち (2) : ゴルギアス 12 愛知者 : ソクラテス 13 イデア論 (1) : ソクラテスとプラトン 14 イデア論 (2) : プラトン 15 まとめ						

試験等 期末レポート
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 授業で学んだことを書きとめておき、興味を持った点や疑問点について参考書などで調べ、自分の関心を深める（事前・事後学習 各2時間）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<必携書> 毎回の授業で資料を配布する。 <参考書> 『西洋哲学史-古代から中世へ』、熊野純彦、岩波新書 『岩波哲学・思想事典』、廣松涉[他編]、岩波書店
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける。
連絡先 hakamada@nanzan-u.ac.jp
留意事項

哲学II					単位数	2単位
授業コード	12020	科目ナンバーリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	崎川 修					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	<p>現代を生きる私たち人間にとって、哲学はどのような意味と役割を持ちうるのだろうか。本講義では「哲学」という思考のスタイルの特徴と、その方法を学びながら、ヴィトゲンシュタインを中心とする19~20世紀の学者たちの向き合った「世界」「自己」「他者」「欲望」「身体」「言葉」といった問題について考察する。たんに哲学史的な知識の集積に終わらない、現実と対話する真の哲学的思考の確立を目指したい。</p>					
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー	（1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	哲学的な思考のスタイルや学者の見解を理解し、諸科学との違いを踏まえ、その概念を説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力		
2	日常の生活の中に哲学的な問題を発見し、その問い合わせを明確に表現し、思考を通じた言語的応答を実践することができる。			思考・判断・表現力／主体性		
3						
4						
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	授業態度、リアクションペーパー : 40%			1/2		
2	期末レポート : 60%			2		
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧	<ol style="list-style-type: none"> 導入：対話としての哲学 世界を知る ① 存在に触れる 世界を知る ② 現実と虚構 自己への問い合わせ ① デカルトと「考える私」 自己への問い合わせ ② ヴィトゲンシュタインと独我論 自己への問い合わせ ③ 自己否定と沈黙の論理 言葉を生きる ① 論理と他者 言葉を生きる ② 言語ゲームと意味 言葉を生きる ③ 生活形式と表現 他者に出会う ① 規則のパラドックス 他者に出会う ② 「心」の文法 身体への着地 ① 「確実性」への問い合わせ 身体への着地 ② 「すがた」の倫理 身体への着地 ③ 「物語」と表現の地平 まとめ：対話のゆくえ 					

<p>試験等 期末レポートを提出してもらう。課題は授業内で指示する。</p>
<p>試験のフィードバックの方法</p>
<p>準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 (予習) 事前に指示する教科書の該当箇所に目を通しておく。 (30分) (復習) 講義の中で取り扱った問いや、リアクションペーパーに記述した自分の考えを振り返ってまとめ、そこでの疑問点について整理する。 (30分)</p>
<p>必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p>『他者と沈黙 ウィトゲンシュタインからケアの哲学へ』 崎川 修, 晃洋書房、2020年 ISBN9784771033054</p>
<p>必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p><参考書等> 参考書は講義内で紹介する。 隨時プリントを配布する。</p>
<p>オフィスアワー 授業内で指示する。質問や相談は隨時メールで受け付ける。</p>
<p>連絡先 sakikawa@m.ndsu.ac.jp</p>
<p>留意事項 ・受講者には毎回授業内で、もしくはmanabaのレポートフォームから、リアクションの提出が課される。リアクションの未提出が5回を超える場合には、「不可」となる場合がある。 ・レポートにおいてネットや文献からの無断流用が認められた場合は、「不可」となるので注意すること。</p>

倫理学 I					単位数	2単位
授業コード	12070	科目ナンバリング	110Z0-2340-02	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	崎川 修					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）	1 講義					
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	<p>私たち人間は互いの人格を認め合い、また自己の人格を引き受けて生きる存在である。しかし「一人格である」ということは、つねにそれぞれの人生に与えられた「課題」であって、それは交わりの中で形成され、成熟していくものだといえる。本講義では「人格論」の視点から倫理学の根本にある「生き方」の問題を、実存哲学的な視点から考察する。また、本学の歴史と人格教育の伝統についても触れながら、かけがえのない自己の人格性の形成に意義について探求する。</p>					
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)					
1	人格の概念とその形成プロセスについての基本的知識を的確に説明することができる。					
2	本学の伝統や過去の思想家の思想についての知識を的確に説明することができる。					
3	自己の人格において与えられている課題に答えていく「生き方」についての意見を述べることができる。					
4						
5						
成績評価の基準	対応する到達目標の番号					
1	受講態度・リアクションペーパー : 50% 1/2/3					
2	期末レポート : 50% 1/2/3					
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
<ol style="list-style-type: none"> 導入：人格論としての倫理学 本学の伝統における人格教育 人格とは何か 交わりと人格形成 実存と人生へのまなざし キルケゴーに学ぶ ①美と倫理 キルケゴーに学ぶ ②絶望と信仰 ニーチェに学ぶ ①道徳とルサンチマン ニーチェに学ぶ ②ニヒリズムの問題 ドストエフスキイに学ぶ①罪と罰 ドストエフスキイに学ぶ②愛と再生 フランクルに学ぶ①『夜と霧』のメッセージ フランクルに学ぶ②人生から問われるもの 悲しみとともにどう生きるか（特別講義：入江杏） まとめ：希望としての人格 						

試験等
期末レポートを提出してもらう。内容については授業内で指示する。
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 (予習) シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味などを確認しておく。 (30分) (復習) リアクションペーパーに記入した自分の考えを、資料等と照らして確認し考察を深める。 (30分)
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
〈必携書〉 『新・私たちの人間論』ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所編, 大学教育出版, 2022年 (2021年次入学生以前の受講生には、授業内で販売する) 〈参考書〉 『夜と霧 [新版]』V. フランクル/池田香代子訳, みすず書房, 2002年 『人として大切なこと』渡辺和子, PHP文庫, 2005年 『他者と沈黙~ウイットゲンシュタインからケアの哲学へ』崎川 修, 晃洋書房, 2020年 『悲しみとともにどう生きるか』入江杏 (編), 集英社新書, 2020年 ほか授業内で隨時紹介する。 必要な資料は適宜プリントを配布する。
オフィスアワー 授業内にて指示する。質問・相談は隨時メールで受け付ける。
連絡先 sakikawa@m.ndsu.ac.jp
留意事項 ・受講者には毎回授業内で、もしくはmanabaのレポートフォームから、リアクションの提出が課される。リアクションの未提出が5回を超える場合には、「不可」となる場合がある。 ・レポートにおいてネットや文献からの無断流用が認められた場合は、「不可」となるので注意すること。 ・本講義は2年次生以上を履修対象とする。

倫理学II					単位数	2単位
授業コード	12085	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	袴田 渉					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
本講義は、古代ギリシアから中世キリスト教に至るまでに生み出された、「徳」、「幸福」、「愛」などの倫理学の基礎的な諸概念を、それらの言葉の歴史とともに学び、いわば概念の身元をたどろうとする。そうすることで、私たち人間どうしが共に生きる日常において、欠くことのできない「倫理なるもの」への理解を深め、その今日における意義を考える。						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	倫理学の基礎的な概念と学説を理解し、それらを説明することができる。			知識・技能		
2	倫理的な問い合わせ自ら抱え、その問い合わせについて自分で考え説明することができる。			思考・判断・表現力／主体性		
3						
4						
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	授業への取り組み度 30%			1		
2	期末レポート 70%			1/2		
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
1 イントロダクション 2 徳 (1) : 英雄社会における徳 3 徳 (2) : ポリス社会における徳 4 徳 (3) : 枢要徳 5 徳 (4) : 善のイデア 6 幸福 (1) : 最も善きもの 7 幸福 (2) : エウダイモニア 8 友愛 (1) : 友愛の条件 9 友愛 (2) : 自己愛から始まる愛 10 情念 (1) : パトス 11 情念 (2) : 情念の正体 12 情念 (3) : 情念の分類 13 隣人愛 (1) : 神への愛／人への愛 14 隣人愛 (2) : 救い 15 まとめ						

試験等 期末レポート
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 授業で学んだことを書きとめておき、興味を持った点や疑問点について参考書などで調べ、自分の関心を深める。（4時間）
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<必携書> 毎回の授業で資料を配布する。
<参考書等> 『ソクラテスの弁明・クリトン』、プラトン[著]、久保勉[訳]、岩波文庫 『ニコマコス倫理学』上下、アリストテレス[著]、高田三郎[訳]、岩波文庫 『聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき』、日本聖書協会 『自省録』、マルクス・アウレリウス[著]、神谷美恵子[訳]、岩波文庫
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける。
連絡先 hakamada@nanzan-u.ac.jp
留意事項

文学Ⅱ					単位数	2単位
授業コード	12120	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期	
担当者氏名	遊佐 徹					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	中国文学における小説ジャンルについて、その成立過程と変遷、そして特徴を文体、主要モチーフ、近代化などに焦点を当てつつ通覧します。					
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	1 本来中国語である「小説」という言葉の原義を指摘できる。			知識・技能		
2	2 中国の小説の成立と発展過程を指摘できる。			知識・技能		
3	3 他言語文化圏の小説ジャンルとの共通点と相違点を把握し、文学における小説ジャンルの存在意義を指摘できる。			知識・技能		
4						
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	指名回答10%			1/2/3		
2	授業中に課す小課題20%			1/2/3		
3	期末テスト70%			1/2/3		
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
1 ガイダンス 2 魯迅からの旅 1、歴史的概観 3 魯迅からの旅 2、小説の原義と近代「小説」 4 文言と白話：中国文学における文学言語と小説 5 神話と物語と小説 6 事実か虚構か：六朝志怪小説、志人小説 7 唐代伝奇小説の文学性 8 庶民の物語の誕生：宋代に始まる変化 9 『三国志演義』の成立：白話小説の時代へ 10 四大奇書：明代傑作小説 11 歴史小説としての白話小説 12 移動する人々：白話小説のドラマの構造 13 短編小説の盛行 14 清代白話小説の特徴 15 中国近代「小説」の誕生：再び魯迅へ						

試験等 16 試験
試験のフィードバックの方法 要求に応じて模範解答を開示します。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 この授業では、できる限り中国の小説作品を原文と翻訳の形式で読みます。受講者の皆さんには、事前に配布する作品資料をよく読んで出席してください。また、随時様々な質問を投げ掛けますので的確に答えられるよう予習・復習に励んでください。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
特にありません。
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<必携書> 漢和字典 <参考書等> 参考文献については授業中に紹介します。
オフィスアワー 担当教員は非常勤教員です。お問い合わせは以下のメールアドレスにお願いいたします。 yusa@cc.okayama-u.ac.jp
連絡先 yusa@cc.okayama-u.ac.jp
留意事項 欠席、遅刻、受講態度については厳しくチェックします。

文学B					単位数	2単位
授業コード	12125	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期	
担当者氏名	遊佐 徹					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	中国文学における小説ジャンルについて、その成立過程と変遷、そして特徴を文体、主要モチーフ、近代化などに焦点を当てつつ通覧します。					
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	1 本来中国語である「小説」という言葉の原義を指摘できる。			知識・技能		
2	2 中国の小説の成立と発展過程を指摘できる。			知識・技能		
3	3 他言語文化圏の小説ジャンルとの共通点と相違点を把握し、文学における小説ジャンルの存在意義を指摘できる。			知識・技能		
4						
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	指名回答10%			1/2/3		
2	授業中に課す小課題20%			1/2/3		
3	期末テスト70%			1/2/3		
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
1 ガイダンス 2 魯迅からの旅 1、歴史的概観 3 魯迅からの旅 2、小説の原義と近代「小説」 4 文言と白話：中国文学における文学言語と小説 5 神話と物語と小説 6 事実か虚構か：六朝志怪小説、志人小説 7 唐代伝奇小説の文学性 8 庶民の物語の誕生：宋代に始まる変化 9 『三国志演義』の成立：白話小説の時代へ 10 四大奇書：明代傑作小説 11 歴史小説としての白話小説 12 移動する人々：白話小説のドラマの構造 13 短編小説の盛行 14 清代白話小説の特徴 15 中国近代「小説」の誕生：再び魯迅へ						

試験等 16 試験
試験のフィードバックの方法 要求に応じて模範解答を開示します。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 この授業では、できる限り中国の小説作品を原文と翻訳の形式で読みます。受講者の皆さんには、事前に配布する作品資料をよく読んで出席してください。また、随時様々な質問を投げ掛けますので的確に答えられるよう予習、復習に励んでください。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
特にありません。
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<必携書> 漢和字典 <参考書等> 参考文献については授業中に紹介します。
オフィスアワー 担当教員は非常勤教員です。お問い合わせは以下のメールアドレスにお願いいたします。 yusa@cc.okayama-u.ac.jp
連絡先 yusa@cc.okayama-u.ac.jp
留意事項 欠席、遅刻、受講態度については厳しくチェックします。

文学Ⅴ					単位数	2単位
授業コード	12135	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	村中 李衣					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	<p>国内外の児童文学作品及び絵本を鑑賞することを通して、「物語」のもつ力とそれを受容する読者の間に生じる読みのダイナミクスを学ぶ。</p> <p>毎回、テキストを手掛かりに国内外の作品を読み解くためのグループディスカッションを行っていく。</p> <p>また、創作のベースとなるメルヘンの構造についても、最初に学び、後の作品読解の手がかりになるようにする。</p>					
アクティブラーニングの実施内容	グループ・ディスカッション					
到達目標					対応するディプロマポリシー	(1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)
1	1. 児童文学作品に関心を持ち、積極的に読書するとともに、それぞれの作品世界について自分なりの意見や世界観を持つようになる。				主体性	
2	2. メルヘンの構造にも理解を深め、巷のメディアに翻弄されない児童文学作品の適切な選択ができるようになる。				思考・判断・表現力	
3	3. 読みあいの概要と方法を理解し、日常場面でコミュニケーションの一助とすることができます。				知識・技能	
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	授業中の討論への参加 20% (到達目標3)				1/2/3	
2	レポート 80% (到達目標1, 2)				1/2	
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目	実務あり					
実務経験の授業への活用方法	現役の児童文学の実作者として、絵本や児童文学作品が創作過程において或いは編集過程においてどのような意図をもって創られていくのかを具体的に解き明かしながら、読者との接点について考えを広げていくことに役立てていく。					
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
①児童文学とは ②メルヘンの系譜その1：しらゆきひめ ③メルヘンの系譜その2：あかずきん ④メルヘンの系譜その3：ももたろう ⑤『ぼくはくまのまでいたかったのに』を中心に ⑥『しろいうさぎとくろいうさぎ』を中心に ⑦『はらぺこあおむし』を中心に ⑧『100万回生きたねこ』を中心に ⑨『じごくのそうべえ』を中心に ⑩文学教材の問題を考える：レオ・レオニ作品について ⑪翻訳児童文学の問題と可能性 ⑫文学と語り ⑬読書療法から読みあいへ ⑭読みあい体験 ⑮まとめ						

試験等
授業で学んだ作品を読み込む視点を生かして、自身で選んだ作品の分析と読みあい実践の振り返りをレポートにまとめ、14回目の講義終了時に提出する。
試験のフィードバックの方法
15週目の講義終了時に提出されたレポートの総括を記したペーパーを配布する
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
事前学習として、毎回指示したテキスト部分を読んでおく（30分）。 事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめマナバにて提出する（1時間）。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<必携書> 子どもと絵本を読みあう、村中李衣、ぶどう社 978-4892401572
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし
オフィスアワー
授業終了後に教室で質問等を受け付ける
連絡先
muranaka@m.ndsu.ac.jp（村中）
留意事項
児童文学の世界を「子どもだけが関係あるんじょ」と考えずに、広く世界を見渡す手立てとしてとらえられるよう、柔軟な心でいっしょに学びあいましょう。世界に繋がる扉を自分の力で押し開ける手助けができますように。

文学C	単位数	2単位			
授業コード	12136	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	村中 李衣				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要	<p>国内外の児童文学作品及び絵本を鑑賞することを通して、「物語」のもつ力とそれを受容する読者の間に生じる読みのダイナミクスを学ぶ。</p> <p>毎回、テキストを手掛かりに国内外の作品を読み解くためのグループディスカッションを行っていく。</p> <p>また、創作のベースとなるメルヘンの構造についても、最初に学び、後の作品読解の手がかりになるようにする。</p>				
アクティブラーニングの実施内容	グループ・ディスカッション				
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	1. 児童文学作品に関心を持ち、積極的に読書するとともに、それぞれの作品世界について自分なりの意見や世界観を持つようになる。				
2	2. メルヘンの構造にも理解を深め、巷のメディアに翻弄されない児童文学作品の適切な選択ができるようになる。				
3	3. 読みあいの概要と方法を理解し、日常場面でコミュニケーションの一助とすることができます。				
4					
5					
成績評価の基準	対応する到達目標の番号				
1	授業中の討論への参加 20% (到達目標 3)				
2	レポート 80% (到達目標 1, 2)				
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目	実務あり				
実務経験の授業への活用方法	現役の児童文学の実作者として、絵本や児童文学作品が創作過程において或いは編集過程においてどのような意図をもって創られていくのかを具体的に解き明かしながら、読者との接点について考えを広げていくことに役立てていく。				
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
①児童文学とは ②メルヘンの系譜その1：しらゆきひめ ③メルヘンの系譜その2：あかずきん ④メルヘンの系譜その3：ももたろう ⑤『ぼくはくまのまでいたかったのに』を中心に ⑥『しろいうさぎとくろいうさぎ』を中心に ⑦『はらぺこあおむし』を中心に ⑧『100万回生きたねこ』を中心に ⑨『じごくのそうべえ』を中心に ⑩文学教材の問題を考える：レオ・レオニ作品について ⑪翻訳児童文学の問題と可能性 ⑫文学と語り ⑬読書療法から読みあいへ ⑭読みあい体験 ⑮まとめ					

試験等

授業で学んだ作品を読み込む視点を生かして、自身で選んだ作品の分析と読みあい実践の振り返りをレポートにまとめ、14回目の講義終了時に提出する。

試験のフィードバックの方法

15週目の講義終了時に提出されたレポートの総括を記したペーパーを配布する

準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間

事前学習として、毎回指示したテキスト部分を読んでおく（30分）。

事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめマナバにて提出する（1時間）。

必携書（教科書販売）

書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考

<必携書>

子どもと絵本を読みあう、村中李衣、ぶどう社 978-4892401572

必携書・参考書（教科書販売以外）

書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考

なし

オフィスアワー

授業終了後に教室で質問等を受け付ける

連絡先

muranaka@m.ndsu.ac.jp（村中）

留意事項

児童文学の世界を「子どもだけが関係あるんじょ」と考えずに、広く世界を見渡す手立てとしてとらえられるよう、柔軟な心でいっしょに学びあいましょう。世界に繋がる扉を自分の力で押し開ける手助けができますように。

文学ⅤⅠ					単位数	2単位
授業コード	12138	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	山根 道公、高田 ひかり					
時間割備考	9/3~6					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	複数					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
<p>世界で愛読され、映画化も話題になった、日本を代表するキリスト教作家遠藤周作（1923-1996）の『沈黙』と、イギリスの英文学者・キリスト教思想家のC. S. ルイス（Clive Staples Lewis, 1898-1963）の『ナルニア国物語』を取り上げる。キリスト教思想を根底にした日英の世界文学の名作を読み解し、そのテーマを自分の問題意識とも結び付けて主体的に考える授業である。</p> <p>本講義の前半では、英ガーディアン紙の「死ぬまでに読むべき必読小説」のリストにもあがる『沈黙』を取り上げ、その背後にある作者遠藤周作の挫折の人生と信仰体験を解説し、さらに日本キリストian史や聖書の象徴等にも触れながら、主人公が挫折と屈辱の末に人間の苦しみの同伴者となるイエスと出会い、人生に何一つ無駄なものはないことに気づいてゆく魂のドラマを読み解く。</p> <p>本講義の後半では、「ナルニア国物語」シリーズの第1作目『ライオンと魔女』（原題The Lion, the Witch and the Wardrobe）を主なテキストとして取り扱い、人間の原罪、倫理の重要性、この世に生きることに伴う苦しみや痛みの存在を認めつつも、キリストに従って生きることの歓びと希望をルイスがいかに表現しているかを考える。さらに、ルイスは文学作品以外にも、神学思想を一般読者に読みやすい形で伝える思想的著作を数多く残しており、神との関わりのうちにある「歓び」（“joy”）を探求することに端を発したルイスの信仰と神学についても学ぶ。</p>						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	授業で取り上げたキリスト教作家の作品について、その時代背景や作家の聖書理解・キリスト教思想等を説明することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力		
2	キリスト教文学作品を理解するために必要なキリスト教の基礎的な知識を説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力		
3	授業で取り上げた作品のテーマについて自分の問題意識とも結び付けて主体的に考え、自分の読み解きを論理的に表現することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
4						
5						
成績評価の基準		対応する到達目標の番号				
1	事前レポート・リアクションレポート 30%			3		
2	中間レポート 35%			1/2/3		
3	期末レポート 35%			1/2/3		
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
1. 遠藤の生涯を信仰と文学を中心に概説（1~8 担当 山根道公） 2. 『沈黙』「まえがき」「1章」-作品の歴史的背景・切支丹迫害概説・父性的イエス像 3. 『沈黙』「2章」「3章」-一かくれ切支丹の信仰・雨の象徴表現・弱者と強者の信仰 4. 『沈黙』「4章」-信徒の殉教と神の沈黙の問題・ユダの裏切りとイエスの愛の問題 5. 『沈黙』「5章」「6章」-罪について・キチジローの信仰・愛（アガペー）について 6. 『沈黙』「7章」「8章」-日本の精神風土とキリスト教の問題・母性的イエス像 7. 『沈黙』「9章」「切支丹屋敷役人日記」-新たな信仰共同体の声とその聖書的背景 8. 前半まとめ 9. ルイスの生涯とその作品について概説、福音書について（9~16 担当 高田ひかり） 10. 『ライオンと魔女』-罪のテーマに着目して 11. 『ライオンと魔女』-受肉、死と復活に着目して 12. 『ライオンと魔女』-色彩から読み解く 13. 『ライオンと魔女』-遊び、笑いのイメージ 14. ルイスの「歓び」の神学について 15. 「歓び」の神学とルイスの文学理論 16. 後半まとめ						

試験等 中間レポート・期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）
試験のフィードバックの方法 必要に応じてマナバで行う。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 集中講義は、1期15回分の予習を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応えて、授業に参加してください。 復習としては、期末レポートの準備になるように毎回の授業での考察や気づき等をまとめる復習をしておきましょう。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 ライオンと魔女／C. S. ルイス／岩波書店／1300／9784001163711／冊子版 遠藤周作『沈黙』新潮社（新潮文庫） [ISBN: 978-4101-123158]
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 『聖書』（必ず持参すること） 参考書 C. S. ルイス『栄光の重み』（C. S. ルイス宗教著作集8）、西村徹訳、新教出版社、2004年。 C. S. ルイス『喜びのひととれ：C. S. ルイス自叙伝』（富山房百貨文庫7）、早乙女忠・中村邦生訳、富山房、1994年。 遠藤周作『切支丹の里』中公文庫 山根道公『遠藤周作 その人生と「沈黙」』日本キリスト教団出版局
オフィスアワー 集中講義のため、質問・相談等は、授業終了後の休み時間、昼休みに受け付ける。また、隨時、電子メールで受け付ける。
連絡先 山根道公 <yamane@m.ndsu.ac.jp> 高田ひかり <s8335@m.ndsu.ac.jp>
留意事項 授業が一方通行にならないようにリアクションペーパーに感想・質問等を書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。

文学D					単位数	2単位	
授業コード	12140	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期		
担当者氏名	山根 道公、高田 ひかり						
時間割備考	9/3~6						
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	複数						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
<p>世界で愛読され、映画化も話題になった、日本を代表するキリスト教作家遠藤周作（1923-1996）の『沈黙』と、イギリスの英文学者・キリスト教思想家のC. S. ルイス（Clive Staples Lewis, 1898-1963）の『ナルニア国物語』を取り上げる。キリスト教思想を根底にした日英の世界文学の名作を読解し、そのテーマを自分の問題意識とも結び付けて主体的に考える授業である。</p> <p>本講義の前半では、英ガーディアン紙の「死ぬまでに読むべき必読小説」のリストにもあがる『沈黙』を取り上げ、その背後にある作者遠藤周作の挫折の人生と信仰体験を解説し、さらに日本キリスト教史や聖書の象徴等にも触れながら、主人公が挫折と屈辱の末に人間の苦しみの同伴者となるイエスと出会い、人生に何一つ無駄なものはないことに気づいてゆく魂のドラマを読み解く。</p> <p>本講義の後半では、「ナルニア国物語」シリーズの第1作目『ライオンと魔女』（原題The Lion, the Witch and the Wardrobe）を主なテキストとして取り扱い、人間の原罪、倫理の重要性、この世に生きることに伴う苦しみや痛みの存在を認めつつも、キリストに従って生きることの歓びと希望をルイスがいかに表現しているかを考える。さらに、ルイスは文学作品以外にも、神学思想を一般読者に読みやすい形で伝える思想的著作を数多く残しており、神との関わりのうちにある「歓び」（“joy”）を探求することに端を発したルイスの信仰と神学についても学ぶ。</p>							
アクティブラーニングの実施内容							
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)					
1	授業で取り上げたキリスト教作家の作品について、その時代背景や作家の聖書理解・キリスト教思想等を説明することができる。		知識・技能／思考・判断・表現力				
2	キリスト教文学作品を理解するために必要なキリスト教の基礎的な知識を説明できる。		知識・技能／思考・判断・表現力				
3	授業で取り上げた作品のテーマについて自分の問題意識とも結び付けて主体的に考え、自分の説解を論理的に表現することができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性				
4							
5							
成績評価の基準		対応する到達目標の番号					
1	事前レポート・リアクションレポート 30%		3				
2	中間レポート 35%		1/2/3				
3	期末レポート 35%		1/2/3				
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
1. 遠藤の生涯を信仰と文学を中心に概説（1~8 担当 山根道公） 2. 『沈黙』「まえがき」「1章」-作品の歴史的背景・切支丹迫害概説・父性的イエス像 3. 『沈黙』「2章」「3章」-かくれ切支丹の信仰・雨の象徴表現・弱者と強者の信仰 4. 『沈黙』「4章」-信徒の殉教と神の沈黙の問題・ユダの裏切りとイエスの愛の問題 5. 『沈黙』「5章」「6章」-罪について・キチジローの信仰・愛（アガペー）について 6. 『沈黙』「7章」「8章」-日本の精神風土とキリスト教の問題・母性的イエス像 7. 『沈黙』「9章」「切支丹屋敷役人日記」-新たな信仰共同体黙の声とその聖書的背景 8. 前半まとめ 9. ルイスの生涯とその作品について概説、福音書について（9~16 担当 高田ひかり） 10. 『ライオンと魔女』-罪のテーマに着目して 11. 『ライオンと魔女』-受肉、死と復活に着目して 12. 『ライオンと魔女』-色彩から読み解く 13. 『ライオンと魔女』-遊び、笑いのイメージ 14. ルイスの「歓び」の神学について 15. 「歓び」の神学とルイスの文学理論 16. 後半まとめ							

試験等 中間レポート・期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）
試験のフィードバックの方法 必要に応じてマナバで行う。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 集中講義は、1期15回分の予習を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応えて、授業に参加してください。 復習としては、期末レポートの準備になるように毎回の授業での考察や気づき等をまとめる復習をしておきましょう。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 ライオンと魔女／C. S. ルイス／岩波書店／1300／9784001163711／冊子版
遠藤周作『沈黙』新潮社（新潮文庫） [ISBN: 978-4101-123158]
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書 『聖書』（必ず持参すること） 参考書 C. S. ルイス『栄光の重み』（C. S. ルイス宗教著作集8）、西村徹訳、新教出版社、2004年。 C. S. ルイス『喜びのひととれ：C. S. ルイス自叙伝』（富山房百貨文庫7）、早乙女忠・中村邦生訳、富山房、1994年。 遠藤周作『切支丹の里』中公文庫 山根道公『遠藤周作 その人生と「沈黙」』日本キリスト教団出版局
オフィスアワー 集中講義のため、質問・相談等は、授業終了後の休み時間、昼休みに受け付ける。また、隨時、電子メールで受け付ける。
連絡先 山根道公 <yamane@m.ndsu.ac.jp> 高田ひかり <s8335@m.ndsu.ac.jp>
留意事項 授業が一方通行にならないようにリアクションペーパーに感想・質問等を書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。

芸術 I					単位数	2単位
授業コード	12250	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	大谷 文彦					
時間割備考	8/19~23					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	<p>授業では、西洋音楽が中世以来のグレゴリオ聖歌を媒体に数百年かけて典礼・音楽両面から次第に形を変え発展していき、宗教改革以降、その媒体をコラール（プロテスタント讃美歌）に変えてなお進化し続けた様子を考察する。時限ごとの始めに、前半はグレゴリオ聖歌を1曲、後半はコラールを1曲歌い、中世のオルガヌムやルネサンスのミサ曲、バロックの聖務日課や受難曲などをオリジナル楽器で鑑賞しながら、祈りのひとつとして民衆に受け入れられていった宗教音楽を味わっていく。</p>					
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標	<p>対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)</p>					
1	・グレゴリオ聖歌やコラール、中世からバロック期までの宗教音楽を考察して、その魅力を感じるとともに、該当期間の西洋音楽の変遷に興味を持つ。					
2	・音楽に対する今まで知らなかった新しい視点に気づくことによって、物事を多角的に見る経験をする。					
3	・期間中にグレゴリオ聖歌を1曲、覚えることができる。					
4						
5						
成績評価の基準	対応する到達目標の番号					
1	・授業中の関心・態度 (一日ごとに、21:00までにmanabaを使って提出したレポートの内容) : 50%					
2	・授業中の関心・態度 (レポート提出一全5回の回数) : 25% (質問や発言の回数) : 15%					
3	・聖歌暗譜唱 : 10%					
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目	【実務あり】					
実務経験の授業への活用方法	<ul style="list-style-type: none"> その当時の演奏解釈による古楽演奏活動をしていたり、 教会聖歌隊、オルガニストとして現在の日本のミサに関わっていたり、 スイスバーゼルで古楽を学んだ経験や 少年期に、教会でグレゴリオ聖歌を歌っていたという経験を活かして、実践に裏付けされた理論を展開する。 					
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
I グレゴリオ聖歌とその変遷						
1 グレゴリオ聖歌と教会旋法						
2 トローブスとゼクウェンツィア						
II ポリフォニー音楽の発展						
3 定旋律とオルガヌム						
4 ノートルダム楽派とモドウスリズム						
5 定量記譜法						
6 ギヨーム・ド・マショー						
III ルネサンスの音楽						
7 ギュース・デュファイ						
8 フラニエル楽派 ジョスカン・デ・ブレ						
9 フラニエル楽派 ヨハンネス・オケゲム						
IV 初期バロックのイタリア音楽						
10 カメラータとモノディー様式						
11 モンテヴェルディ「マドリガーレ集」						
12 " 「聖母マリアのタベの祈り」						
V 後期バロックのドイツ音楽						
13 バッハ「マタイ受難曲」①						
14 " ②						
15 " ③						

試験等
<ul style="list-style-type: none"> 毎日の感想等をまとめた5回のレポート (何を教師が語ったかを書くのではなく、感想や気がついたこと、発見や自分の体験なども併せて具体的に書けると良い) 16時限目に聖歌歌唱の実技試験を暗譜で行う。歌の上手下手は問わない。
試験のフィードバックの方法
1日（3時間分終了後）のレポートに対して次の時間（翌日）にコメントを行いながら授業を進める。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
<ul style="list-style-type: none"> 授業に出て、眠らないでちゃんと聞いていれば、難易度は決して高くない。 何かを発見するような聞き方をしてメモしていれば、後でのレポートに役立つ。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<必携書> 「中世・ルネサンスの音楽」、皆川達夫、講談社学術文庫
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
それぞれの授業の前に、参考文献として楽譜等を配布する。ファイルないしはクリアーフォルダーを準備してほしい。
オフィスアワー
質問は授業中、またはレポートの中で隨時受ける。
連絡先
s8020@m.ndsu.ac.jp
留意事項
<ul style="list-style-type: none"> ある程度、楽譜が読めれば幸いだ。 講義中の飲食は慎むこと。

芸術A					単位数	2単位
授業コード	12255	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	大谷 文彦					
時間割備考	8/19~8/23 キリスト教と音楽					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）	3 実験・実習・実技					
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
<p>授業では、西洋音楽が中世以来のグレゴリオ聖歌を媒体に数百年かけて典礼・音楽両面から次第に形を変え発展していき、宗教改革以降、その媒体をコラール（プロテスタント讃美歌）に変えてなお進化し続けた様子を考察する。時限ごとの始めに、前半はグレゴリオ聖歌を1曲、後半はコラールを1曲歌い、中世のオルガニズムやルネサンスのミサ曲、バロックの聖務日課や受難曲などをオリジナル楽器で鑑賞しながら、祈りのひとつとして民衆に受け入れられていった宗教音楽を味わっていく。</p>						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	・グレゴリオ聖歌やコラール、中世からバロック期までの宗教音楽を考察して、その魅力を感じるとともに、該当期間の西洋音楽の変遷に興味を持つ。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性		
2	・音楽に対する今まで知らなかった新しい視点に気づくことによって、物事を多角的に見る経験をする。			思考・判断・表現力/主体性		
3	・期間中にグレゴリオ聖歌を1曲、覚えることができる。			主体性		
4						
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	・授業中の関心・態度 (一日ごとに、21:00までにmanabaを使って提出したレポートの内容) : 50%			1/2		
2	・授業中の関心・態度 (レポート提出一全5回の回数) : 25% (質問や発言の回数) : 15%			1/2/3		
3	・聖歌暗譜唱 : 10%			3		
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目				実務あり		
実務経験の授業への活用方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・その当時の演奏解釈による古楽演奏活動をしていたり、 ・教会聖歌隊、オルガニストとして現在の日本のミサに関わっていたり、 ・イスバーゼルで古楽を学んだ経験や ・少年期に、教会でグレゴリオ聖歌を歌っていたという経験を活かして、実践に裏付けられた理論を展開する。 						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
I グレゴリオ聖歌とその変遷 1 グレゴリオ聖歌と教会旋法 2 トローブスとゼクウェンツィア II ポリフォニー音楽の発展 3 定旋律とオルガニズム 4 ノートルダム楽派とモドウスリズム 5 定量記譜法 6 ギヨーム・ド・マショー III ルネサンスの音楽 7 ギュース・デュファイ 8 フランドル楽派 ジョスカン・デ・プレ 9 フランドル楽派 ヨハンネス・オケゲム IV 初期バロックのイタリア音楽 10 カメラータとモノディー様式 11 モンテヴェルディ「マドリガーレ集」 12 " " 「聖母マリアのタベの祈り」 V 後期バロックのドイツ音楽 13 バッハ「マタイ受難曲」① 14 " ② 15 " ③						

試験等
<ul style="list-style-type: none"> 毎日の感想等をまとめた5回のレポート (教師が何を語ったかを書くより、感想や気がついたこと、発見や自分の体験なども併せて具体的に書けると良い) 16時限目に聖歌歌唱の実技試験を暗譜で行う。歌の上手下手は問わない。
試験のフィードバックの方法
1日（3時間分終了後）のレポートに対して次の時間（翌日）にコメントを行いながら授業を進める。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
<ul style="list-style-type: none"> 授業に出て、眠らないでちゃんと聞いていれば、難易度は決して高くない。 何かを発見するような聞き方をしてメモしていれば、後のレポートに役立つ。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<必携書> 「中世・ルネサンスの音楽」、皆川達夫、講談社学術文庫
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
それぞれの授業の前に、参考文献として楽譜等を配布する。ファイルないしはクリアーフォルダーを準備してほしい。
オフィスアワー
質問は授業中、またはレポートの中で隨時受ける。
連絡先
s8020@m.ndsu.ac.jp
留意事項
<ul style="list-style-type: none"> ある程度、楽譜が読めれば幸いだ。 講義中の飲食は慎むこと。

芸術ⅠⅠⅠ	単位数	2単位			
授業コード	12270	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	池上 公平				
時間割備考	9/2~5 キリスト教図象学入門				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要	伝統的なヨーロッパの美術においては主題の過半がキリスト教のものであるが、それらを理解するためには、キリスト教に関する知識に加え、キリスト教主題がどのように表現されるか、その様相と歴史を知る必要がある。そして、それはヨーロッパ以外すなわちアジア・アフリカ・アメリカ大陸のキリスト教美術を理解する上でも必須のものである。本講義では、その基礎を学ぶ。ここで学ぶことは、美術にとどまらず、文学、音楽、演劇、ひいてはキリスト教そのものの理解にも役立つであろう。ただし、様々な制約があるため、イエス・キリストに関する主題のみを扱うこととした。また、日本におけるキリスト教受容の一側面として、いわゆるキリスト教美術および近代日本のキリスト教美術についても触れることとする。				
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	イエス・キリストに関する主題を扱った美術作品を見て、その主題を理解し、説明することができる。				
2	ある主題の時代や地域による展開について理解し、説明することができる。				
3	日本におけるキリスト教の受容を通して、異文化の受容について関心を持ち、考えることができる。				
4					
5					
成績評価の基準	対応する到達目標の番号				
1	1				
2	2				
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
1 ガイダンス					
2 キリストの表現					
3 キリストの幼年時代1（受胎告知）					
4 キリストの幼年時代2（降誕、羊飼いの礼拝、東方三博士の礼拝）					
5 キリストの公生涯1（キリストの洗礼、キリストの試練、ペトロとアンデレの召命）					
6 キリストの公生涯2（キリストの変容、法と鍵の授与）					
7 キリストの公生涯3（パンと魚の奇跡、カナの婚宴）					
8 キリストの公生涯4（ラザロの復活、シモンの家のキリスト）					
9 キリストの受難1（エルサレム入城、神殿からの商人追放、最後の晩餐、使徒たちの聖体拝領）					
10 キリストの受難2（使徒たちの足を洗うキリスト、ゲッセマネの祈り、キリストの逮捕、ペトロの否認、キリストの鞭打ち）					
11 キリストの受難3（キリストの磔刑）					
12 キリストの復活（十字架降下、ピエタ、キリストの墓を訪れる聖女たち、われに触れるな、エマオの晩餐、キリストの復活）					
13 キリスト教美術					
14 近代日本のキリスト教美術					
15まとめ					

試験等
16回目に試験を行う予定。
試験のフィードバックの方法
試験終了後に解答例を配布する。小レポートにはできる限り授業時にコメントするが、時間の制約があるので、できない場合もあることをあらかじめ承知しておいてほしい。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
各回の内容について、参考文献の該当箇所を読んでおく。授業後には内容をまとめておき、小レポートに反映させること。 事前事後の学修について合計1時間程度をあてることが望ましい。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
使用しない。
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<参考書> 『聖書』（新共同訳が望ましいが、その他の訳でもかまわない。以下のURLから参照することもできる。） https://www.bible.com/ja/bible/1819/JHN.1.%E6%96%B0%E5%85%B1%E5%90%8C%E8%A8%B3 荒井献編『新約聖書外典』講談社 ジェイムズ・ホール『西洋美術解説事典』高階秀爾監修 河出書房新社 ピーター・マレイ、リンダ・マレイ『オックスフォードキリスト教美術・建築事典』中森義宗監訳 東信堂
オフィスアワー
質問は隨時受け付ける。
連絡先
ikegamik@kyoritsu-wu.ac.jp
留意事項

芸術B	単位数	2単位			
授業コード	12275	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	池上 公平				
時間割備考	9/2~5 キリスト教図象学入門				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	1 講義				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要	伝統的なヨーロッパの美術においては主題の過半がキリスト教のものであるが、それらを理解するためには、キリスト教に関する知識に加え、キリスト教主題がどのように表現されるか、その様相と歴史を知る必要がある。そして、それはヨーロッパ以外すなわちアジア・アフリカ・アメリカ大陸のキリスト教美術を理解する上でも必須のものである。本講義では、その基礎を学ぶ。ここで学ぶことは、美術にとどまらず、文学、音楽、演劇、ひいてはキリスト教そのものの理解にも役立つであろう。ただし、様々な制約があるため、イエス・キリストに関する主題のみを扱うこととした。また、日本におけるキリスト教受容の一側面として、いわゆるキリスト教美術および近代日本のキリスト教美術についても触れることとする。				
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	イエス・キリストに関する主題を扱った美術作品を見て、その主題を理解し、説明することができる。				
2	ある主題の時代や地域による展開について理解し、説明することができる。				
3	日本におけるキリスト教の受容を通して、異文化の受容について関心を持ち、考えることができる。				
4					
5					
成績評価の基準	対応する到達目標の番号				
1	1				
2	2				
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
1 ガイダンス					
2 キリストの表現					
3 キリストの幼年時代1（受胎告知）					
4 キリストの幼年時代2（降誕、羊飼いの礼拝、東方三博士の礼拝）					
5 キリストの公生涯1（キリストの洗礼、キリストの試練、ペトロとアンデレの召命）					
6 キリストの公生涯2（キリストの変容、法と鍵の授与）					
7 キリストの公生涯3（パンと魚の奇跡、カナの婚宴）					
8 キリストの公生涯4（ラザロの復活、シモンの家のキリスト）					
9 キリストの受難1（エルサレム入城、神殿からの商人追放、最後の晩餐、使徒たちの聖体拝領）					
10 キリストの受難2（使徒たちの足を洗うキリスト、ゲッセマネの祈り、キリストの逮捕、ペトロの否認、キリストの鞭打ち）					
11 キリストの受難3（キリストの磔刑）					
12 キリストの復活（十字架降下、ピエタ、キリストの墓を訪れる聖女たち、われに触れるな、エマオの晩餐、キリストの復活）					
13 キリスト教美術					
14 近代日本のキリスト教美術					
15まとめ					

試験等
16回目に試験を行う予定。
試験のフィードバックの方法
試験終了後に解答例を配布する。小レポートにはできる限り授業時にコメントするが、時間の制約があるので、できない場合もあることをあらかじめ承知しておいてほしい。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
各回の内容について、参考文献の該当箇所を読んでおく。授業後には内容をまとめておき、小レポートに反映させること。 事前事後の学修についてそれぞれ1時間程度をあてることが望ましい。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
使用しない。
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<参考書> 『聖書』（新共同訳が望ましいが、その他の訳でもかまわない。以下のURLから参照することもできる。） https://www.bible.com/ja/bible/1819/JHN.1.%E6%96%B0%E5%85%B1%E5%90%8C%E8%A8%B3 荒井献編『新約聖書外典』講談社 ジェイムズ・ホール『西洋美術解説事典』高階秀爾監修 河出書房新社 ピーター・マレイ、リンダ・マレイ『オックスフォードキリスト教美術・建築事典』中森義宗監訳 東信堂
オフィスアワー
質問は隨時受け付ける。
連絡先
ikegamik@kyoritsu-wu.ac.jp
留意事項

芸術Ⅴ					単位数	2単位	
授業コード	12280	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期		
担当者氏名	谷川 ゆき、森下 麻衣子						
時間割備考	8/19 (月) 1~4時限、8/20 (火) 1~4時限、8/21 (水) 1~3時限、8/22 (木) 1~4時限 [予定]						
授業形態 (主)	1 講義						
授業形態 (副)							
担当形態	オムニバス						
研究分野 (大学院)							
本授業の概要							
日本美術史の入門講座。絵画を中心に、画題・テーマ別にさまざまな作品を取りあげ、日本の美術工芸品の表現について理解を深めることを目的とする。前半は谷川が担当し前近代の作例を、後半は森下が担当し、近代の作例を取り上げる。各講義のテーマに照らして各時代の重要作品を提示し、制作年代や作者、媒体（画面形式など）による表現の差異や多様性を講じる。あわせて展覧会の見学会を行って、主体的に美術工芸品を理解する力を身につけることを目指す。							
アクティブラーニングの実施内容		体験学習					
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	日本美術史の重要作品について、基本的な知識を運用できる。			知識・技能			
2	日本美術に関する知識や考えを、他者に説明できる。			思考・判断・表現力			
3	自ら主体的に、美術館や博物館での見学を実行できる。			主体性			
4							
5							
成績評価の基準			対応する到達目標の番号				
1	集中講義1日ごとの小テスト (リアクションペーパー) (40%)			1/2			
2	まとめレポート (60%)			1/2/3			
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
集中講義1日目 (担当: 谷川ゆき)							
①宗教美術と物語 ②説話物語と絵画 ③源氏物語と絵画 ④伊勢物語と絵画							
集中講義2日目 (担当: 谷川ゆき)							
⑤平家物語と絵画 ⑥御伽草子と絵画 ⑦作品鑑賞の手引と、展覧会見学のポイント ⑧展覧会見学 (近隣の美術館・博物館での見学を予定しています。詳細はmanaba等で告知します。シラバス「留意事項」も参照のこと)							
集中講義3日目 (担当: 森下麻衣子)							
⑨日本画の中の人物表現(1)歴史画 ⑩日本画の中の人物表現(2)美人画とその他 ⑪近代の花鳥・動物表現							
集中講義4日目 (担当: 森下麻衣子)							
⑫幸野模倣の美術 ⑬竹内栖鳳の美術 ⑭国画創作協会の画家たちの美術 ⑮展覧会見学 (夢二郷土美術館を予定。詳細はmanaba等で告知します。シラバス「留意事項」も参照のこと)							

試験等

講義1日目・2日目・3日目・4日目に、授業の理解度をみるための小テストを実施する。詳細はmanabaにて通知する。
講義全体を通じて学んだことを活かした最終レポートを出題する。詳細はmanabaにて通知する。

試験のフィードバックの方法

manabaに解答のポイントを掲載する。

準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間

シラバスを参考に、講義内容に関連する、日本美術史・日本文化史の概説書に目を通し、特に時代背景について大まかな知識を身につけておく。集中講義開始前に、最低1週間程度かけて通読しておくとよい。

事後学修として、関連する展覧会に足を運ぶことで、講義で学んだことが実践に生かされるであろう。

必携書（教科書販売）

書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考

使用しない。

必携書・参考書（教科書販売以外）

書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考

推薦する参考書：『日本美術史』、2014年、山下裕二・高岸輝監修、美術出版社（ISBN-10: 4568389070）

オフィスアワー

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

連絡先

谷川 yuki.tnkw@gmail.com
森下 maiko.m@umam.jp

留意事項 **○講義日程（予定）について**

集中講義1日目：8月19日 1時限～4時限（対面） 担当：谷川
集中講義2日目：8月20日 1時限～4時限（対面） 担当：谷川
集中講義3日目：8月21日 1時限～3時限（対面） 担当：森下
集中講義4日目：8月22日 1時限～4時限（対面） 担当：森下

 ○学外見学について

集中講義2日目、4日目の午後に、学外での展覧会見学を予定しています。交通費等の費用は自己負担となりますのでご了承ください。
また、新型コロナウィルス感染症の状況により、見学を中止し、学内での講義に代替する可能性があります。

芸術C					単位数	2単位	
授業コード	12285	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期		
担当者氏名	谷川 ゆき、森下 麻衣子						
時間割備考	8/19 (月) 1~4時限、8/20 (火) 1~4時限、8/21 (水) 1~3時限、8/22 (木) 1~4時限 [予定]						
授業形態 (主)	1 講義						
授業形態 (副)							
担当形態	オムニバス						
研究分野 (大学院)							
本授業の概要							
日本美術史の入門講座。絵画を中心に、画題・テーマ別にさまざまな作品を取りあげ、日本の美術工芸品の表現について理解を深めることを目的とする。前半は谷川が担当し前近代の作例を、後半は森下が担当し、近代の作例を取り上げる。各講義のテーマに照らして各時代の重要作品を提示し、制作年代や作者、媒体（画面形式など）による表現の差異や多様性を講じる。あわせて展覧会の見学会を行って、主体的に美術工芸品を理解する力を身につけることを目指す。							
アクティブラーニングの実施内容		体験学習					
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	日本美術史の重要作品について、基本的な知識を運用できる。			知識・技能			
2	日本美術に関する知識や考えを、他者に説明できる。			思考・判断・表現力			
3	自ら主体的に、美術館や博物館での見学を実行できる。			主体性			
4							
5							
成績評価の基準			対応する到達目標の番号				
1	集中講義1日ごとの小テスト (リアクションペーパー) (40%)			1/2			
2	まとめレポート (60%)			1/2/3			
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
集中講義1日目 (担当: 谷川ゆき)							
①宗教美術と物語 ②説話物語と絵画 ③源氏物語と絵画 ④伊勢物語と絵画							
集中講義2日目 (担当: 谷川ゆき)							
⑤平家物語と絵画 ⑥御伽草子と絵画 ⑦作品鑑賞の手引と、展覧会見学のポイント ⑧展覧会見学 (近隣の美術館・博物館での見学を予定しています。詳細はmanaba等で告知します。シラバス「留意事項」も参照のこと)							
集中講義3日目 (担当: 森下麻衣子)							
⑨日本画の中の人物表現(1)歴史画 ⑩日本画の中の人物表現(2)美人画とその他 ⑪近代の花鳥・動物表現							
集中講義4日目 (担当: 森下麻衣子)							
⑫幸野模倣の美術 ⑬竹内栖鳳の美術 ⑭国画創作協会の画家たちの美術 ⑮展覧会見学 (夢二郷土美術館を予定。詳細はmanaba等で告知します。シラバス「留意事項」も参照のこと)							

試験等

講義1日目・2日目・3日目・4日目に、授業の理解度をみるための小テストを実施する。詳細はmanabaにて通知する。
講義全体を通じて学んだことを活かした最終レポートを出題する。詳細はmanabaにて通知する。

試験のフィードバックの方法

manabaに解答のポイントを掲載する。

準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間

シラバスを参考に、講義内容に関連する、日本美術史・日本文化史の概説書に目を通し、特に時代背景について大まかな知識を身につけておく。集中講義開始前に、最低1週間程度かけて通読しておくとよい。

事後学修として、関連する展覧会に足を運ぶことで、講義で学んだことが実践に生かされるであろう。

必携書（教科書販売）

書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考

使用しない。

必携書・参考書（教科書販売以外）

書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考

推薦する参考書：『日本美術史』、2014年、山下裕二・高岸輝監修、美術出版社（ISBN-10: 4568389070）

オフィスアワー

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

連絡先

谷川 yukitnkw@gmail.com
森下 maiko.m@umam.jp

留意事項 **○講義日程（予定）について**

集中講義1日目：8月19日 1時限～4時限（対面） 担当：谷川
集中講義2日目：8月20日 1時限～4時限（対面） 担当：谷川
集中講義3日目：8月21日 1時限～3時限（対面） 担当：森下
集中講義4日目：8月22日 1時限～4時限（対面） 担当：森下

 ○学外見学について

集中講義2日目、4日目の午後に、学外での展覧会見学を予定しています。交通費等の費用は自己負担となりますのでご了承ください。
また、新型コロナウィルス感染症の状況により、見学を中止し、学内での講義に代替する可能性があります。

歴史学 I I	12320	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	単位数	2単位
授業コード	久野 洋	担当者氏名	開講年度学期	2024年度第1期	
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要	<p>本授業では、特に青年や少女に注目して、近現代の日本社会を考える。その際、同時代の映像や、「風立ちぬ」「火垂るの墓」（宮崎駿監督）といった映画作品を使って、下記の授業予定一覧に掲げたテーマを論じていく。具体的には、映画作品の時代描写も手がかりに、映像や史料をもとに近代以降の人びとが抱えた矛盾や葛藤に焦点を当て、そこから見える近現代日本社会の特徴を考察する。</p> <p>授業では、映画や文学などで扱われる「歴史」はあくまでフィクションであることに留意しつつ、歴史学が私たちにどのような知的体力を与えてくれるかという点を意識して進めたいと思う。</p>				
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標	<p>対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)</p>				
1	歴史学を学ぶ上での基本的な心構えと方法論を理解し、説明できる。				
2	映像や史料を通して、近代日本社会に生きた人びとが抱えた矛盾や葛藤を具体的に読み取りし、そこから近現代の日本社会の特徴を考察・説明することができる。				
3	現代社会が直面する諸問題について、歴史的経緯を踏まえて考え、自分の意見を整理することができる。				
4					
5					
成績評価の基準	対応する到達目標の番号				
1	期末レポート 70% 1/2/3				
2	リアクションペーパー・授業への取り組み度 30% 1/3				
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧	<ol style="list-style-type: none"> 歴史家の仕事を考える① 歴史家の仕事を考える② 明治日本から大正日本へ 明治・大正期の青年 第一次世界大戦後の都市化・大衆社会化① 第一次世界大戦後の都市化・大衆社会化② 1920~1930年代の日本社会①：都市エリート青年と農村青年 結核のロマン化と現実 科学者と戦争 「風立ちぬ」から考える近代日本社会 戦間期の世界 1920~1930年代の日本社会②：官僚の挑戦 1920~1930年代の日本社会③：軍部の台頭 戦時下の日本社会① 戦時下の日本社会② 				

試験等 期末レポートを課す。詳細は授業中に説明する。
試験のフィードバックの方法 授業中に指示する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 講義内容は継続的・論理的に展開するので、授業後には、講義内容について配布レジュメや参考文献をもとに自分なりに整理しておくこと（毎回2時間程度）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に適宜紹介する。
オフィスアワー 授業中に指示する。
連絡先 hisano@m.ndsu.ac.jp
留意事項 授業で取り上げる対象・テーマは、現代に生きる私たちが直面する問題に通ずる部分も多い。現代社会の問題に対して常にアンテナを張り続けてほしい。レポートにおいては、過去・現在の社会について考えをめぐらせ、自分の言葉で論理的に書いてくるものを求める。毎回のアクションペーパーも、これらのことと意識して書くこと。

					単位数	2単位
授業コード	12325	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	久野 洋					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	<p>本授業では、特に青年や少女に注目して、近現代の日本社会を考える。その際、同時代の映像や、「風立ちぬ」「火垂るの墓」（宮崎駿監督）といった映画作品を使って、下記の授業予定一覧に掲げたテーマを論じていく。具体的には、映画作品の時代描写も手がかりに、映像や史料をもとに近代以降の人びとが抱えた矛盾や葛藤に焦点を当て、そこから見える近現代日本社会の特徴を考察する。</p> <p>授業では、映画や文学などで扱われる「歴史」はあくまでフィクションであることに留意しつつ、歴史学が私たちにどのような知的体力を与えてくれるかという点を意識して進めたいと思う。</p>					
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標	<p>対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)</p>					
1	歴史学を学ぶ上での基本的な心構えと方法論を理解し、説明できる。					
2	映像や史料を通して、近代日本社会に生きた人びとが抱えた矛盾や葛藤を具体的に読み取りし、そこから近現代の日本社会の特徴を考察・説明することができる。					
3	現代社会が直面する諸問題について、歴史的経緯を踏まえて考え、自分の意見を整理することができる。					
4						
5						
成績評価の基準	対応する到達目標の番号					
1	期末レポート 70% 1/2/3					
2	リアクションペーパー・授業への取り組み度 30% 1/3					
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧	<ol style="list-style-type: none"> 歴史家の仕事を考える① 歴史家の仕事を考える② 明治日本から大正日本へ 明治・大正期の青年 第一次世界大戦後の都市化・大衆社会化① 第一次世界大戦後の都市化・大衆社会化② 1920~1930年代の日本社会①：都市エリート青年と農村青年 結核とロマン化と現実 科学者と戦争 「風立ちぬ」から考える近代日本社会 戦間期の世界 1920~1930年代の日本社会②：官僚の挑戦 1920~1930年代の日本社会③：軍部の台頭 戦時下の日本社会① 戦時下の日本社会② 					

試験等 期末レポートを課す。詳細は授業中に説明する。
試験のフィードバックの方法 授業中に指示する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 講義内容は継続的・論理的に展開するので、授業後には、講義内容について配布レジュメや参考文献をもとに自分なりに整理しておくこと（毎回2時間程度。）
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に適宜紹介する。
オフィスアワー 授業中に指示する。
連絡先 hisano@m.ndsu.ac.jp
留意事項 授業で取り上げる対象・テーマは、現代に生きる私たちが直面する問題に通ずる部分も多い。現代社会の問題に対して常にアンテナを張り続けてほしい。レポートにおいては、過去・現在の社会について考えをめぐらせ、自分の言葉で論理的に書いてくるものを求める。毎回のアクションペーパーも、これらのことと意識して書くこと。

歴史学 I I I					単位数	2単位	
授業コード	12330	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期		
担当者氏名	鈴木 真						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
<p>近代に至るまでの東アジア世界の国際秩序のあり方を、おもに中国王朝・皇帝・儒教（儒家思想）の視点から、漢文史料を中心に用いて講義する。</p> <p>中国の皇帝の本質は「天子」であり、理念上では「天」から、「天下」のすべてを統治する権限を与えられた存在である。こうした理念は当然、現実の東アジア世界の実態とは乖離する。そうした中で歴代の中国王朝は、「華夷」思想という概念を用いながら、自らを中心とする東アジア世界の国際秩序を、さまざまな方策により構築・維持してきた。そしてそのような過程で理論化された「華夷」の概念は、周辺の朝鮮半島や日本列島等にも拡大され、それは近代以降の東アジア世界にも大きな影響を及ぼすことになるのである。</p>							
アクティブラーニングの実施内容		発見学習					
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	近代に至るまでの東アジア世界の国際秩序がどのように形成され、また時代によってどのように変化していったのか、その特徴について説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力			
2	前近代の東アジア世界の国々が、現代の国際社会とは異なる理論・秩序によって結びついていたこと、それが近代以降にどのような影響を及ぼしていったのかについて説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力			
3	また上記のような理論・秩序の思想的背景を、儒教（儒家思想）や皇帝支配との関係から説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力			
4							
5							
成績評価の基準			対応する到達目標の番号				
1	小レポート：10%			1/2			
2	期末試験：90% (持込み不可の長文論述試験を、対面でおこなう)			1/2			
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
1. 「中国」とは何か 2. 「中華」と「天子」の世界観 3. 華と夷を分けるもの 4. 天子と皇帝と王 5. 朝貢と冊封 6. 東アジア世界の天子と封貢（～5世紀） 7. 東アジア世界の天子と封貢（～9世紀） 8. 東アジア世界の天子と封貢（～13世紀） 9. 朱子学と華夷秩序 10. 華夷秩序の再編と海禁 11. 南海遠征と朝貢国の拡大 12. 朝鮮王朝と小中華 13. 朝鮮燕行使と朝鮮通信使 14. 朝貢と互市 15. 東アジア世界における国際秩序の崩壊と再編							

試験等 第16回に期末試験（長文論述形式・持込不可・対面）をおこなう。
試験のフィードバックの方法 解説をおこなう。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前後に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。また関係する書籍を読み、理解を深めておくこと（毎回3時間程度）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<参考書等> 参考文献は講義中に適宜紹介する。また、毎回資料プリントを配付する。
オフィスアワー 月曜日の4時限（14:45～16:15）
連絡先 suzukimakoto@post.ndsu.ac.jp
留意事項 講義中、指名しての発言を求めることがある。 成績評価、および出欠管理は厳格におこなう。 期末試験は、長文の論述形式でおこなう（持込不可・対面）。ただし情況によってはレポート課題に変更することもある。

歴史学B	単位数	2単位			
授業コード	12335	科目ナンバーリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	鈴木 真				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	1 講義				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要	<p>近代に至るまでの東アジア世界の国際秩序のあり方を、おもに中国王朝・皇帝・儒教（儒家思想）の視点から、漢文史料を中心に用いて講義する。</p> <p>中国の皇帝の本質は「天子」であり、理念上では「天」から、「天下」のすべてを統治する権限を与えられた存在である。こうした理念は当然、現実の東アジア世界の実態とは乖離する。そうした中で歴代の中国王朝は、「華夷」思想という概念を用いながら、自らを中心とする東アジア世界の国際秩序を、さまざまな方策により構築・維持してきた。そしてそのような過程で理論化された「華夷」の概念は、周辺の朝鮮半島や日本列島等にも拡大され、それは近代以降の東アジア世界にも大きな影響を及ぼすことになるのである。</p>				
アクティブラーニングの実施内容	発見学習				
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	近代に至るまでの東アジア世界の国際秩序がどのように形成され、また時代によってどのように変化していったのか、その特徴について説明できる。				
2	前近代の東アジア世界の国々が、現代の国際社会とは異なる理論・秩序によって結びついていたこと、それが近代以降にどのような影響を及ぼしていったのかについて説明できる。				
3	また上記のような理論・秩序の思想的背景を、儒教（儒家思想）や皇帝支配との関係から説明できる。				
4					
5					
成績評価の基準	対応する到達目標の番号				
1	小レポート：10% 1/2				
2	期末試験：90% (持込み不可の長文論述試験を、対面でおこなう) 1/2				
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧	<ol style="list-style-type: none"> 「中国」とは何か 「中華」と「天子」の世界観 華と夷を分けるもの 天子と皇帝と王 朝貢と冊封 東アジア世界の天子と封貢（～5世紀） 東アジア世界の天子と封貢（～9世紀） 東アジア世界の天子と封貢（～13世紀） 朱子学と華夷秩序 華夷秩序の再編と海禁 南海遠征と朝貢国の大拡大 朝鮮王朝と小中華 朝鮮燕行使と朝鮮通信使 朝貢と互市 東アジア世界における国際秩序の崩壊と再編 				

試験等 第16回に期末試験（長文論述形式・持込不可・対面）をおこなう。
試験のフィードバックの方法 解説をおこなう。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前後に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。また関係する書籍を読み、理解を深めておくこと（毎回3時間程度）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<参考書等> 参考文献は講義中に適宜紹介する。また、毎回資料プリントを配付する。
オフィスアワー 月曜日の4時限（14:45～16:15）
連絡先 suzukimakoto@post.ndsu.ac.jp
留意事項 講義中、指名しての発言を求めることがある。 成績評価、および出欠管理は厳格におこなう。 期末試験は、長文の論述形式でおこなう（持込不可・対面）。ただし情況によってはレポート課題に変更することもある。

日本国憲法 I 「英日現国情」					単位数	2単位
授業コード	12380	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第2期	
担当者氏名	浅沼 友恵					
時間割備考	1年次 文学部、国際文化学部、情報デザイン学部対象					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	<p>テーマ「平和と人権」。近代憲法と呼ばれるためには、何よりも人権の保障がなければならない。また、日本国憲法が世界に誇れるのは平和主義である。日本国憲法を学ぶ意義は、自由で公正な社会を築くためには人はみなかけがえのない大切な存在だという人間社会の根本にあるものを学ぶことであり、国民主権の理念が統治機構にどのように反映されているか知ることである。日本国内の憲法改正論、世界を取り巻く環境の変化に対して真の情報を得て自ら考えることが必要となってくる近年、「平和」の構築をはじめとする社会問題を考える基盤となるような最低限度の知識を身につけることを目的とする。</p>					
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標						対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)
1	日本国憲法の理念をその原点から正しく把握することができる。					知識・技能/思考・判断・表現力
2	基本的人権や平和主義、国民主権を理解するとともに統治機構とその構造、関係性について理解できる。					知識・技能/思考・判断・表現力
3	憲法の理念を正しく理解したうえで平和や人権を希求することができる。					知識・技能/思考・判断・表現力/主体性
4	個人としてあるいは教職に就く人間として憲法を学ぶことは、よりよい社会の実現につながることを理解し、実践できるようになる。					知識・技能/思考・判断・表現力/主体性
5						
成績評価の基準						対応する到達目標の番号
1	毎回の授業ごとに、レポートを提出していただきます。提出されたレポートの内容と期末テストを合わせて、総合的に理解度を判定します。					1/2/3
2	①全体の3分の2以上の出席ならびにその授業の課題レポートの提出 (毎回manaba folioからの提出) 30%					1/2/3
3	②期末前の総合課題提出 (GoogleClassroomからの提出) 20%					1/2/3
4	③期末テスト (筆記試験) 50%					1/2/3
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
I. 日本国憲法の沿革						
① イントロダクション						
② 日本国憲法誕生の背景						
II. 日本国憲法の三大理念と幸福追求権						
③ 基本的人権・国民主権						
④ 人権の始期・憲法の私人間効力						
⑤ 幸福追求権・自己決定権						
III. 自由権						
⑥ 思想・信条の自由・信教の自由・目的効果論・表現の自由						
⑦ 知る権利・教育の自由・人身の自由・						
⑧ 経済的自由権・自由権に対する規制論						
IV. 法の下の平等						
⑨ 平等権						
V. 社会権と憲法における女性の項目						
⑩ 生存権・憲法における家族						
VI. 平和主義						
⑪ 平和主義 (前文・9条の解釈)						
⑫ 平和主義 (自衛隊・PKO)						
VII. 日本の統治機構						
⑬ 三権分立・三審制						
⑭ 両議院制・間接民主制						
⑮ 国民投票						
VIII. 期末テストの実施 (第16回目) と解答・解説						

<p>試験等 第16回目に定期試験（筆記式）を実施</p>
<p>試験のフィードバックの方法 定期試験終了後、解答・解説を講義する。</p>
<p>準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 授業予定は上記の通りなので、事前に教科書を熟読しておくこと。（30分程度）期末になると膨大な量になるので、その都度覚えるように復習をしましょう。（復習30分程度） また、毎日のニュースに関心を持つこと。高校までの教科書を復習することも有益。</p>
<p>必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p><必携書> 『大学生のための憲法〔第2版〕』、 法律文化社、ISBN: 784589043344 本体価格: 2,500円</p>
<p>必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p>なし。</p>
<p>オフィスアワー 授業前後に質問を受けつけます。</p>
<p>連絡先 Email:s8001@m.ndsu.ac.jp</p>
<p>留意事項 課題やレポート提出のために、manaba folio/Google classroom/Wordが使えるようにしておきましょう。</p>

日本国憲法 I 「人間社会」					単位数	2単位
授業コード	12390	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	浅沼 友恵					
時間割備考	1年次 人間生活学部対象					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
<p>テーマ「平和と人権」。近代憲法と呼ばれるためには、何よりも人権の保障がなければならない。また、日本国憲法が世界に誇れるのは平和主義である。日本国憲法を学ぶ意義は、自由で公正な社会を築くためには人はみなかけがえのない大切な存在だという人間社会の根本にあるものを学ぶことであり、国民主権の理念が統治機構にどのように反映されているか知ることである。日本国内の憲法改正論、世界を取り巻く環境の変化に対して真の情報を得て自ら考えることが必要となってくる近年、「平和」の構築をはじめとする社会問題を考える基盤となるような最低限度の知識を身につけることを目的とする。</p>						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	日本国憲法の理念をその原点から正しく把握することができる。			知識・技能/思考・判断・表現力		
2	基本的人権や平和主義、国民主権を理解するとともに統治機構とその構造、関係性について理解できる。			知識・技能/思考・判断・表現力		
3	憲法の理念を正しく理解したうえで平和や人権を希求することができる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性		
4	個人としてあるいは教職に就く人間として憲法を学ぶことは、よりよい社会の実現につながることを理解し、実践できるようになる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性		
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	毎回の授業ごとに、レポートを提出していただきます。提出されたレポートの内容と期末テストを合わせて、総合的に理解度を判定します。			1/2/3		
2	①全体の3分の2以上の出席ならびにその授業の課題レポートの提出 (毎回manaba folioからの提出) 30%			1/2/3		
3	②期末前の総合課題提出 (GoogleClassroomからの提出) 20%			1/2/3		
4	③期末テスト (筆記試験) 50%			1/2/3		
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
<p>I. 日本国憲法の沿革 ① イントロダクション ② 日本国憲法誕生の背景</p> <p>II. 日本国憲法の三大理念と幸福追求権 ③ 基本的人権・国民主権 ④ 人権の始期・憲法の私人間効力 ⑤ 幸福追求権・自己決定権</p> <p>III. 自由権 ⑥ 思想・信条の自由・信教の自由・目的効果論・表現の自由 ⑦ 知る権利・教育の自由・人身の自由・ ⑧ 経済的自由権・自由権に対する規制論</p> <p>IV. 法の下の平等 ⑨ 平等権</p> <p>V. 社会権と憲法における女性の項目 ⑩ 生存権・憲法における家族</p> <p>VII. 平和主義 ⑪ 平和主義 (前文・9条の解釈) ⑫ 平和主義 (自衛隊・PKO)</p> <p>VIII. 日本の統治機構 ⑬ 三権分立・三審制 ⑭ 両議院制・間接民主制 ⑮ 国民投票</p> <p>VIII. 期末テストの実施 (第16回目) と解答・解説</p>						

<p>試験等 第16回目に定期試験（筆記式）を実施</p>
<p>試験のフィードバックの方法 定期試験終了後、解答・解説を講義する。</p>
<p>準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 授業予定は上記の通りなので、事前に教科書を熟読しておくこと。（30分程度）期末になると膨大な量になるので、その都度覚えるように復習をしましょう。（復習30分程度） また、毎日のニュースに関心を持つこと。高校までの教科書を復習することも有益。</p>
<p>必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p><必携書> 『大学生のための憲法〔第2版〕』、 法律文化社、ISBN: 784589043344 本体価格: 2,500円</p>
<p>必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p>なし。</p>
<p>オフィスアワー 授業前後に質問を受けつけます。</p>
<p>連絡先 Email:s8001@m.ndsu.ac.jp</p>
<p>留意事項 課題やレポート提出のために、manaba folio/Google classroom/Wordが使えるようにしておきましょう。</p>

日本国憲法 I I					単位数	2単位	
授業コード	12400	科目ナンバーリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第2期		
担当者氏名	俟野 英二						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
身近な憲法問題からそれに関する憲法の基本原理及び基礎知識を学ぶ。さらに、その基本原理等に関する現代的な社会問題についてグループで取り組み、各回のテーマごとに全体で討議する。グループワーク・全体討議及び自ら調査した情報を基に学生各自がレポートを作成する。これ等の活動により、身近な問題を憲法やルールを使って問題の全体像の把握、多面的な分析及び体系的論理的な思考による自らの意見の形成の仕方を修得する。また、異なる価値観に基づく意見を尊重する態度及び価値観の多様化した社会における議論の仕方を修得する。							
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ワーク					
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	憲法の基本原理及び基礎知識を理解している。			知識・技能			
2	憲法の基本原理及び基礎知識を活用して実社会の中で主体的かつ論理的に主権者として考え、行動することができる。			思考・判断・表現力			
3							
4							
5							
成績評価の基準			対応する到達目標の番号				
1	小テスト：30%			1			
2	グループワーク：15%						
3	中間レポート：15%			2			
4	定期試験：40%			1/2			
5							
実務経験のある教員による授業科目			実務あり				
実務経験の授業への活用方法							
香川県教育委員会および香川県総務部人権・同和政策課における人権教育や相談、教育に関する実務経験から、身近な学生目線の具体的な憲法問題から憲法の基本原理や基礎的な知識を講義することにより、学生に実践的な統治上、人権上の問題解決への取り組みへの理解を促す。							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
第1回：ガイダンス、憲法とは何か 第2回：グループワーク（1）（課題選択、課題分析、リサーチ） 第3回：グループワーク（2）（情報整理、報告書作成） 第4回：国家としての天皇制 第5回：平和主義（1）（非武装平和主義採用の背景とその後） 第6回：平和主義（2）（近年の安全保障をめぐる状況） 統治機構（1）（政治と国民、国会議員） 第7回：統治機構（2）（選挙、選挙制度、政党、国会、内閣） 第8回：統治機構（3）（地方自治、裁判所） 第9回：良心をもつ自由、貫く権利 第10回：表現の自由と書かれない権利、知る権利とマス・メディアの自由 第11回：営業の自由と消費者の権利 第12回：働く人の権利 第13回：困った時の権利、差別されている人たちへの配慮 第14回：家庭と女性の権利 第15回：子どもの権利と学校における生徒の人権							

試験等 16週目に筆記試験を行う。
試験のフィードバックの方法 小テスト（各章）の各実施後に、正解を配付する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 (予習) 次週に予定されているテーマに関して教科書の該当部分を読み重要な語句の意味を調べておくこと、また、グループで選択した発展課題について情報収集・情報整理を行うこと（約1時間）。 (復習) 授業を通じて得られた知見をもとに当該テーマについてさらに理解を深めること、および小テストで誤解のあった点を明確にし理解を深めること（約1時間）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 憲法のちから 身近な問題から憲法の役割を考える／中富 公一 編著／法律文化社／2400／9784589041401／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<参考書等> 基本判例1 憲法（第4版）（右崎正博・浦田一郎編、法学書院） 授業の中で、法律情報（法令、裁判例、学術論文など）の調査方法を説明する。
オフィスアワー 質問は、授業後に直接、または随時メールで受け付ける。
連絡先 pi9i3ulh@s.okayama-u.ac.jp (◎を@に変換して送信してください)
留意事項

法律学Ⅰ	単位数	2単位			
授業コード	12410	科目ナンバーリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	山本 賢昌				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要	<p>法律学Ⅰでは、日本国憲法、行政法、民法の財産法を学ぶ。なかでも日常生活と深いかかわりのある民法の財産法を中心に学ぶ。憲法については、日本国憲法の基本原理や日本の統治機構、基本的人権の保障の在り方を理解する。行政法については、行政法とはなにか、法律による行政とは何か、行政救済法の概略について理解する。民法については、民法第1編総則、第2編物権、第3編債権について、その内容を理解し、財産法上の重要な論点を考察する。さらに、具体的な事例を検討することにより、社会生活における民法（財産法）の作用や役割について学び、今後の社会生活に資することを目的とする。</p>				
アクティブラーニングの実施内容	発見学習				
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	日本国憲法の基本原理を理解し、憲法で定められた統治機構の在り方や基本的人権の保障の在り方を理解し、ひとりの主権者として、主体的に日本の政治に関わり、社会的活動を行うことができるようになる。				
2	行政と市民の関係を理解し、行政によって市民の権利が侵害された場合の救済方法を知ることにより、そのような立場に置かれた場合に的確な行動ができるようになる。				
3	民法の財産法の各条文の立法趣旨や内容を理解し、社会生活の具体的な場面において、民法がどのように適用されるのかを的確に判断できるようになり、日常生活において自己の財産上の権利利益を守れるようになる。				
4					
5					
成績評価の基準	対応する到達目標の番号				
1	1/2/3				
2	1/2/3				
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目	実務あり				
実務経験の授業への活用方法	<p>弁護士としての実務経験を活かし、憲法・行政法・民法に関する具体的な事件の事例を授業内容に織り込むことによって、それぞれの法が具体的な場面でどのように事件の解決のために適用されるのかを学生に理解してもらう。</p>				
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧	<p>1 日本国憲法、基本原理の理解 2 行政法、概要、法律による行政の原理、行政救済法 3 民法、第1編総則、通則、人、法人 4 民法、第1編総則、物、法律行為（意思表示） 5 民法、第1編総則、法律行為（代理、条件、期間、時効） 6 民法、第2編物権、占有権、所有権 7 民法、第2編物権、地上権、永小作権、地役権 8 民法、第2編物権、留置権、先取特権、質権、抵当権 9 民法、第3編債権、総則 10 民法、第3編債権、契約（総則） 11 民法、第3編債権、契約（贈与、売買、交換） 12 民法、第3編債権、契約（消費貸借、使用貸借、賃貸借用） 13 民法、第3編債権、契約（雇用、請負、委任、寄託、組合、終身定期金、和解） 14 民法、第3編債権、事務管理、不当利得、不法行為 15 定期試験 16 定期試験講評</p>				

試験等
試験のフィードバックの方法 定期試験の後にその講評を行う
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく（30分～1時間程度）。 復習として、講義で配布する資料を読み、小問題を解き解説を読む（30分～1時間程度）
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 『デイリー六法令和6年度版』三省堂
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 なし
オフィスアワー 質問は授業の後で受け付ける。
連絡先 aek06103@nifty.com
留意事項

法律学II					単位数	2単位	
授業コード	12411	科目ナンバーリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第2期		
担当者氏名	山本 賢昌						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
民法の家族法、刑法を学ぶ。民法のうち、第4編親族、第5編相続について、その内容を解説し、家族法上の重要な論点を個別的に考察する。さらに、具体的な事例を検討することにより、社会生活における民法（家族法）の作用や役割について理解し、今後の夫婦・親子・家族・親族の在り方を考察する。刑法については、刑法の基本原理やしくみ、どのような行為が罪として定められ、どのような刑罰を科されるのかについて学ぶ。							
アクティブラーニングの実施内容		発見学習					
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	民法の家族法の各条文の立法趣旨や内容を理解し、社会生活や家庭生活の具体的な場面において、民法がどのように適用されるのかを的確に判断できるようになり、日常生活において自己の家族法上の権利利益を守れるようになる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性			
2	刑法の基本原理を理解し、どのような行為がどのような罪に該当し、どのような刑罰を受けるのかを理解する。日常生活において、自らの行為が刑事罰の対象となるようなものであるかどうか判断できるようになる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性			
3							
4							
5							
成績評価の基準		対応する到達目標の番号					
1	受講態度		1/2				
2	期末試験		1/2				
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目		実務あり					
実務経験の授業への活用方法							
弁護士としての実務経験を活かし、民法・刑法に関する具体的な事件の事例を授業内容に織り込むことによって、それぞれの法が具体的な場面でどのように事件の解決のために適用されるのかを学生に理解してもらう。							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
1	民法、第3編親族、総則、婚姻（要件）						
2	民法、第3編親族、婚姻（要件）						
3	民法、第3編親族、婚姻（婚約、内縁）						
4	民法、第3編親族、婚姻（効力）						
5	民法、第3編親族、婚姻（離婚1）						
6	民法、第3編親族、婚姻（離婚2）						
7	民法、第3編親族、親子（実子）						
8	民法、第3編親族、親子（養子）						
9	民法、第3編親族、親権、後見、保佐及び補助、扶養						
10	民法、第4編相続、総則、相続人						
11	民法、第4編相続、効力、承認及び放棄、相続人の不存在						
12	民法、第4編相続、遺言、配偶者の居住の権利、遺留分、特別の寄与						
13	刑法、刑法の基本原理、第1編総則						
14	刑法、第2編罪						
15	定期試験						
16	定期試験講評						

試験等
試験のフィードバックの方法 定期試験の後にその講評を行う。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく（30分～1時間程度）。 復習として、講義で配布する資料を読み、小問題を解き解説を読む（30分～1時間程度）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 『デイリー六法令和6年度版』三省堂
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 なし
オフィスアワー 質問は授業の後に受け付ける
連絡先 aek06103@nifty.com
留意事項

社会学	単位数	2単位			
授業コード	12420	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	中山 ちなみ				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要	<p>本講義では、私たちの身近で起こっている具体的な現象や社会問題を事例として取り上げ、それらを社会学の知見と結びつけて考えることにより、社会学の基礎的な理論や知識を修得することをめざす。社会学的なものの見方、考え方を学ぶことで、今まで自分では気づいていなかったこと、「あたりまえ」と思っていたことが、別の見え方をしてくるという社会学のおもしろさ・難しさを、少しでも感じ取ってもらいたい。</p>				
アクティブラーニングの実施内容	発見学習				
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	社会学とはどのような学問であるか、また、自身にとっての社会学を学ぶ意義について、自分の言葉で述べることができる。				
2	社会学が扱う多様な対象・領域に関心を持つことができる。				
3	社会事象を分析・説明・解釈する力を身につけ、向上させる。				
4	自分を取り巻くさまざまな「社会」で生じている問題を発見することができる。				
5	自分自身が「社会」とつながっている社会的存在であることを理解し、それを自分の言葉で説明できる。				
成績評価の基準	対応する到達目標の番号				
1	期末筆記試験 : 80% 1/2/3/4/5				
2	レポート課題 : 10% 2/3/4				
3	毎回の授業後のリアクションペーパー : 10% 1/2/3/4/5				
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
1. イントロダクション 2. 社会的存在としての人間 3. アイデンティティ 4. ジェンダー 5. 社会の現状と動向を把握する ——データの読み方—— 6. ライフコースと家族 (1) 7. ライフコースと家族 (2) 8. 社会の多様な局面をとらえる ——映画を題材に—— 9. 都市の生活と人間関係 (1) 10. 都市の生活と人間関係 (2) 11. 社会規範 12. 同調行動と逸脱行動 13. 社会階層と平等 14. 権力 15. まとめ					

試験等
期末筆記試験
試験のフィードバックの方法
試験終了時に、解答の一部を口頭で伝える。また、試験後の問い合わせに対応する。 レポート課題については、授業中に全体の講評をし、個別の問い合わせにも対応する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
ほぼ毎回の授業でプリントを配付する。授業後は、ノートやプリントを読み直して知識を確実なものにしていくとともに、授業で得た知見を実際の社会事象に適用し、説明しようとする姿勢をぜひ身につけてもらいたい。授業を振り返り、ノートをまとめるための時間として、毎回、1~2時間程度の復習を求める。授業中に紹介する参考図書等も積極的に読んでほしい。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<参考書等>
講義時間中に随時紹介する。
オフィスアワー
オフィスアワーは設けない。 研究室で質問や相談等をしたい場合は、事前にメールで予約をしてください。
連絡先
研究室電話番号：086-252-7102 メールでの問い合わせは、c.nakayama@m.ndsu.ac.jp宛に送ってください。
留意事項
授業で紹介した事象や概念をただ覚えるだけの受け身的な態度ではなく、社会学的な見方をすることによって、自分の身の周りで起こっている問題がどのように分析・説明できるのかということを考えながら、能動的・積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。 質問等は授業終了後に対応する。授業中でも遠慮せずに尋ねてもらってかまわない。

心理学II（臨床心理学概論）					単位数	2単位
授業コード	12511	科目ナンバーリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	中内 みさ					
時間割備考	2018年度以降入学生対象					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）	1 講義					
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
臨床心理学はholisticallyに人間をみる心理学です。また、人と人が出会い、かかわり、理解を深めていくことを通して、ともに成長していく心理学です。この授業では臨床心理学の基礎を概説します。臨床心理学の理論や家族関係の病理、臨床心理学的観点から見た発達の問題などを広く取り上げます。						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	臨床心理学・カウンセリング理論の基礎を理解し、説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
2	臨床心理学の観点から、社会の様々な問題に関して自分の考えを述べることができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
3						
4						
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	各回のコメント 20%			1/2		
2	小レポート 40%			1/2		
3	期末レポート 40%			1/2		
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目		実務あり				
実務経験の授業への活用方法						
カウンセラーあるいはセラピストとしての経験を活かし、心理学・心理療法についての実際的理を深めます。						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション-臨床心理学って何？ 臨床心理学の方法 心をどう見るか1 - それはパブロフから始まった 心をどう見るか2 - 私の知らない私 裸足でよろめく-心理療法とは何か リアルワールドの中の症状- 行動療法など ことばと夢-精神分析など ありのままの私 - 来談者中心療法など 子どもと出会う - 遊戯療法など なぜメイにはトトロが見えたか-幼児期～児童期の心理臨床 限界を抱えて飛ぶ-思春期～青年期の心理臨床 気になる子どもたち 心とからだと魂と-心身症の話 イメージの世界-象徴の話 女性の生き方を考える 						

試験等 期末レポート
試験のフィードバックの方法 manabaでフィードバックをします。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 各界のテーマに関して、聞いてみたいことなどをまとめておく（30分程度）。授業終了後、新たに得た知見やそれに対するコメントなどを書いておくこと（30分程度）。 また、関心のあるテーマはぜひ参考文献を読んでください。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
＜参考書等＞ 毎回の講義で紹介します。
オフィスアワー 最初の授業時に伝えます。
連絡先 中内 みさ mnakauchi@post.ndsu.ac.jp
留意事項 授業についての連絡・フィードバックを双方的に行うため、manaba folioを使用します。受講者は必ず、manaba folio掲示板のリマインダ機能をオンにして、内容を見ておくようにしてください。 100名定員です。

心理学III（健康・医療心理学）					単位数	2単位
授業コード	12521	科目ナンバーリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期	
担当者氏名	多田 志麻子					
時間割備考	2018年度以降入学生対象					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
<p>健康の維持増進、病気の予防のための心理学の基礎および実践の知識を理解する。</p> <p>授業では、健康に関する心の仕組みや働きを学ぶ。また、心理テスト等を実施し、自ら体験しながら、自己を知り、自らの健康をよりよくコントロールできるようにする。さらに、心の健康教育としてストレスマネジメントについて理論やスキルを習得する。</p>						
アクティブラーニングの実施内容		体験学習				
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	健康に関する心理学の基礎的知識を説明できる。			知識・技能		
2	自己を振り返り、自らの健康をよりよくコントロールできる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
3	心の健康教育に関する実践方法を説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
4						
5						
成績評価の基準		対応する到達目標の番号				
1	定期試験：55%			1/2/3		
2	小テスト：20%			1/3		
3	授業への取り組み：25%			2/3		
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目		実務あり				
実務経験の授業への活用方法						
臨床心理士、公認心理師として教育相談で実践した心理臨床経験を心の健康に関する理論や技法に活用する						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
1 発達と健康に関する特徴 ①新生児期・乳幼児期 2 発達と健康に関する特徴 ②児童期・青年期 3 発達と健康に関する特徴 ③成人期・老年期 4 健康行動の基礎 5 フラストレーション 6 ストレスと健康 7 パーソナリティと健康 8 自己理解 9 他者理解 10 発達障害と支援 11 災害時の心理支援 12 心の健康教育 13 ストレスマネジメント ① 14 ストレスマネジメント ② 15 まとめ						

試験等 16週目に筆記試験を行う。
試験のフィードバックの方法 試験終了後に模範解答を掲示する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 授業後、配布資料とノートを見直し、授業内容を復習し、次の授業に臨む（約30分）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
＜参考書等＞ 毎回の授業で資料を配布する。 参考書は授業中に提示する。
オフィスアワー 質問は授業終了後またはメールで受け付ける。
連絡先 s9031@m.ndsu.ac.jp
留意事項

心理学IV（司法・犯罪心理学）					単位数	2単位
授業コード	12525	科目ナンバーリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	日下 紀子、浅田 慎太郎、海野 順					
時間割備考	8/20, 27, 9/5					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	複数					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
<p>司法・犯罪に関する心理学について学びます。</p> <p>前半の授業内容は、臨床心理士・公認心理師として、元受刑者の立ち直りを支援している経験も踏まえて、司法・犯罪領域における心理学の理論や心理臨床実践について、講義します。</p> <p>後半の授業内容は、多くの犯罪が依存・嗜癖関連障害と密接に関係していることを紹介し、依存症医療の立場から専門的な支援の実際について、講義します。</p>						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を獲得し、説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力		
2	司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援についての基本的知識を獲得し、説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
3						
4						
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	担当者ごとに、担当回数に応じた配点で評価する（浅田：75点、海野：25点）。評価は、授業中の課題や小テスト、レポート等を行う。具体的な評価方法や持ち点内での配分については、各担当者から授業中に指示する。			1/2/3		
2	司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援についての基本的知識の理解の度合いをテストにて測る。（35%）			1/2/3		
3	司法・犯罪分野における問題に関して必要な支援について、心理学的な観点から説明できているかを評価する。（35%）			1/2/3		
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目				実務あり		
実務経験の授業への活用方法						
担当教員は、公認心理師、臨床心理士、または精神科医の資格を有し、司法・犯罪心理学領域に関する心理支援や心理業務、医療業務に従事した経験に基づき、講義を行う。						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
<p>第1回 犯罪とはなにか（浅田）</p> <p>第2回 犯罪統計を見る（浅田）</p> <p>第3回 非行・犯罪に対応する社会的枠組み、とくに出所後の元受刑者（浅田）</p> <p>第4回 社会構造としての非行・犯罪（浅田）</p> <p>第5回 社会過程としての非行・犯罪（浅田）</p> <p>第6回 非行・犯罪のリスク・アセスメント（浅田）</p> <p>第7回 非行・犯罪とアタッチメント（浅田）</p> <p>第8回 司法心理療法概論（浅田）</p> <p>第9回 被害と被害者（浅田）</p> <p>第10回 まとめ：非行・犯罪の問題に取り組む（浅田）</p> <p>第11回口精神鑑定と責任能力（海野）</p> <p>第12回口依存・嗜癖問題の理解（海野）</p> <p>第13回口依存・嗜癖問題の支援（海野）</p> <p>第14回口司法犯罪分野における心理学的援助（海野）</p> <p>第15回口まとめ：司法矯正と医療福祉の連携に向けた動き（海野）</p>						

試験等
担当者ごとに、担当回数に応じた配点で評価する（浅田：75点、海野：25点）。 評価は、授業中の課題や小テスト、レポート等で行う。具体的な評価方法や持ち点内での配分については、各担当者から授業中に指示する。
試験のフィードバックの方法
授業中の課題とテストは、解答の解説を行う。レポートは、総評をmanabaにてフィードバックする。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
普段から報道される事件やニュースにも関心をもち、犯罪心理学にかかるテキストを自習しましょう。（1時間） 講義後には、依存・嗜癖問題の知識を得た上で、一般に報道されている事件等について再考してみると、多角的な視点を持つことにつながると思いますのでお勧めします。（1時間）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
購入が必要な教科書はありません。必要な資料は担当教員が準備し、ポータル上にアップしようと思います。 【参考書】 犯罪統計について：『犯罪白書』『警察白書』 犯罪心理学について：『犯罪心理学事典』『犯罪行動の心理学〔原著第6版〕』『犯罪心理学-行動科学のアプローチ』 司法臨床について：『司法心理療法-犯罪と非行への心理学的アプローチ』『児童虐待・解離・犯罪：暴力犯罪への精神分析的アプローチ』、よくある「犯罪心理学入門」的な本でも、なんでもかまいません。興味があれば読んでみてください。 依存・嗜癖問題について：『本当の依存症の話をしよう-ラットパークと薬物戦争』、『動機づけ面接法 逆引きMI学習帳』、さらに依存症分野に关心がある人には『人はなぜ依存症になるのか 自己治療としてのアディクション』、『愛着障害としてのアディクション』をお薦めします。
オフィスアワー
授業終了後に教室で質問を受け付ける。
連絡先
学内担当者（日下） noriko.kusaka@m.ndsu.ac.jp
留意事項

情報学I					単位数	2単位
授業コード	12530	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	小松原 実					
時間割備考	2021年度以降入学生対象。2020年度入学生は情報科目。					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
<p>本講義では、日常生活においても必要とされる情報技術の基本と、課題解決のための効果的な情報収集、情報の整理、分析方法を学ぶ。社会においては情報通信技術の発達と普及により大量のデータが利用可能となっているが、これらを効率よく処理し、新たな知見を得ることができるように、各種の手法を学習し、それらを実際に使用していくことで、実践可能な知識と技術を身につける。インターネット上では、多くのオープンデータが提供されていることから、これらを積極的に利用する。また、その成果をレポート・論文やプレゼンテーションによって表現するための方法を学ぶ。</p>						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	情報収集の特徴を簡潔に説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力		
2	表計算ソフトを使ってデータを整理することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
3	ワープロソフトを使ってレポート・論文の構成を組むことができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
4	プレゼンテーションソフトの機能を有効に使うことができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
5	情報モラルを簡潔に説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力		
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	課題60%			1/2/3/4/5		
2	授業への積極的な参加40%			1/2/3/4/5		
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
<ol style="list-style-type: none"> パソコンの機能と基本的な仕組み ファイルに関する機能 情報収集手段の種類と特徴 エクセルの基本操作 セルと関数 表作成（データを扱い、整理する） グラフ作成（作図して結果を説明） 統計分析の基本 ワードの基本操作 レポート・論文の構成・ページ設定 レポート・論文の書式 プレゼンテーションソフトウェアの基本 プレゼンテーション作成実践 情報モラル（情報活用の注意） 情報モラル（メールやインターネットの注意） 総括 						

試験等	指定した課題を提出する。提出は講義担当者によって構築された学習支援システム「Repad」を用いて行う。使い方は講義で解説する。
試験のフィードバックの方法	課題については講義時に解説する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間	予習：各回講義内容の教科書該当部分を読んで理解しておく（約30分） 復習：講義内容について理解を深め、課題制作に取り組むこと（約1時間）
必携書（教科書販売）	書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
これだけでOK! 仕事に使える ワード エクセル パワーポイント 増補改訂版 (ISBN-10:4866365552 、ラケータ (著)、出版社: standards、2022年)	
必携書・参考書（教科書販売以外）	書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし	
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける。またはメールで受け付ける。
連絡先	komatsubara@po.osu.ac.jp
留意事項	情報学Ⅰでは情報リテラシーを、情報学Ⅱではデータサイエンスを扱う。 いずれも初步から始めるので、どちらを先に履修してもかまわない。 また、どちらか一方だけを履修してもよい。 毎回の出席が大前提、毎回USBメモリなどの保存用メディアを必ず持参すること。 コンピュータの稼働台数によって履修者数が制限される。 受講定員は50名とし、受講者の決定は「N抽選」にて行う。 抽選方法などの詳細は、学務部教務係からの掲示を確認すること。

情報学II					単位数	2単位
授業コード	12535	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期	
担当者氏名	小松原 実					
時間割備考	2021年度以降入学生対象。2020年度以降入学生は情報科目。					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	<p>本講義では、課題解決のための効果的な情報収集、情報の整理、分析方法をより効率的に処理していくための手法を学ぶ。現代社会では大量のデータが利用可能となっているが、こうしたデータの処理を行うためにはコンピュータにプログラミングする知識と技術が不可欠となる。こうしたプログラミング技術の基礎を学習し、それらを実際に使用していくことで、実践可能な知識と技術を身につける。インターネット上では多くのオープンデータが提供されていることから、これらをプログラミングによって利用する方法も学ぶ。</p>					
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)					
1	データサイエンスを簡潔に説明できる。 知識・技能					
2	整理された情報を説明することができる。 知識・技能／思考・判断・表現力／主体性					
3	プログラミングを説明することができる。 知識・技能／思考・判断・表現力／主体性					
4	ネットワーク上のデータの利用方法を簡潔に説明することができる。 知識・技能					
5						
成績評価の基準	対応する到達目標の番号					
1	課題 (60%) 1/2/3/4					
2	授業への積極的な参加 (40%) 1/2/3/4					
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧	<ol style="list-style-type: none"> データサイエンスの概要と活用領域 ネットワーク上のデータの種類と用途 表計算ソフトの基本機能とオブジェクト VBAの基本的な考え方とプログラム作成方法 プログラムによるセルの操作と関数利用 メッセージボックスによるデータの入出力 オブジェクトとコレクションの操作 ブック、シートの操作の例 プログラムによる複数ファイルの自動処理 組み合わせの計算と応用例 国勢調査データの意味とその利用の基本 将来の人口予測を国勢調査データから行う 人口予測結果の意味とグラフでの表示 情報の性質と利活用の注意 総括 					

試験等	指定された課題を期限内に提出する。提出は講義担当者によって構築された学習支援システム「Repad」を用いて行う。使用方法は講義で解説する。
試験のフィードバックの方法	課題については講義時に解説する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間	予習：教科書の各講義回の関連部分の内容を理解すること（約30分） 復習：講義内容について理解を深め、課題制作に取り組むこと（約1時間）
必携書（教科書販売）	書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
今すぐ使えるかんたんEx Excelマクロ&VBA プロ技BESTセレクション、著者：土屋和人、出版社：技術評論社（2021/6/9）	
必携書・参考書（教科書販売以外）	書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし	
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける。またはメールで受け付ける。
連絡先	komatsubara@po.osu.ac.jp
留意事項	情報学Ⅰでは情報リテラシーを、情報学Ⅱではデータサイエンスを扱う。 いずれも初步から始めるので、どちらを先に履修してもかまわない。 また、どちらか一方だけを履修してもよい。 毎回の出席が大前提、毎回USBメモリなどの保存用メディアを必ず持参すること。 コンピュータの稼働台数によって履修者数が制限される。 受講定員は50名とし、受講者の決定は「N抽選」にて行う。 抽選方法などの詳細は、学務部教務係からの掲示を確認すること。

化学 I					単位数	2単位
授業コード	12580	科目ナンバーリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期	
担当者氏名	齋藤 啓太					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	<p>私たちの身の回りに存在するものは全て化学物質で構成されており、その性質の多くは化学を理解することで説明できる。例えばなぜその服の色は赤に見えるのか、なぜその医薬品は頭痛に効くのか、などである。本講義では、まず化学の基礎を理解した上で、身の回りの様々な現象を化学の知識で説明できるようになることを目的とする。講義では、学生-講師間の対話を様々なツールを用いて行い、学生が受け身にならず積極的に情報発信を行うことを促す。</p>					
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	化学物質を構成する基本的な要素（原子・分子）の構造と性質について説明できる。			知識・技能		
2	身の回りの現象について、化学的な知識と関連付けて理解し、説明できる。			思考・判断・表現力／主体性		
3						
4						
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	期末試験 (70%)			1/2		
2	受講態度 (30%)			2		
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧	<p>1 イントロダクション～化学が何の役に立つ？～ 2 化学の基礎（1）原子の構造、分子の構造 3 化学の基礎（2）化学結合、化学反応 4 化学の基礎（3）無機化合物と有機化合物 5 生物と無生物 6 生体の化学 7 医薬品の化学 8 DNAと病気 9 身の回りの化学（1）鉛筆とダイヤモンド 10 身の回りの化学（2）プラスチック 11 身の回りの化学（3）アルコール 12 身の回りの化学（4）電池 13 身の回りの化学（5）色素 14 身の回りの化学（6）西洋薬 15 身の回りの化学（7）漢方薬</p>					

試験等 16週目に定期試験を行う。
試験のフィードバックの方法 試験終了後に模範解答を掲示する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 次週に予定されているテーマに関して、インターネット等を利用して調査しておくこと（約30分）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 「ニュートン式超図解 最強に面白い！！化学」, 2020年, ISBN 978-4-315-52202-0, 桜井 弘 監修, ニュートンプレス
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし
オフィスアワー 質問はメール等で隨時受け付ける。
連絡先 ksaito@shujitsu.ac.jp
留意事項

単位数	2単位				
授業コード	12581	科目ナンバーリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	稻垣 賢二				
時間割備考	食品栄養学科の1年生は履修することが望ましい。				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
生化学は、生命現象のしくみを理解する学問です。したがって「人は食べ物からどうやってエネルギーを得ているのか？」など、文系の人にとっても、健康な毎日を過ごすためにとても大切なことです。暮らしに身近な糖や脂質、アミノ酸、ビタミンや核酸のかたちやはたらきを学び、上手に栄養を摂取して健康に生きるための知識を学習し、習得します。この授業は「生化学」の入門講義として行います。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	糖質、脂質、蛋白質、酵素、ビタミン、核酸など生体関連物質の構造と機能を学習することで、それらの生理的意義に対する理解を深め、健康に生きるための生化学に関する知識を広げ、説明できる。		知識・技能		
2	身の回りの現象について、化学的な知識と関連付けて理解し、説明できる。		思考・判断・表現力／主体性		
3					
4					
5					
成績評価の基準			対応する到達目標の番号		
1	確認テスト2回 (40%)		1/2		
2	受講態度、小テスト、レポートなど (60%)		1/2		
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
1 講義の概要 2 生命科学研究の歴史 3 細胞とは 原核生物と真核生物 4 糖質の構造と機能 単糖の構造と性質 5 多糖類の種類と性質 6 脂質の構造と機能 脂肪酸の構造と性質 7 アミノ酸の構造と機能 8 蛋白質の構造と機能 9 " 10 ビタミンと補酵素 11 酵素の種類と性質 12 " 13 ヌクレオチドの構造と機能 14 DNAとRNA " 15 遺伝子操作技術と現代					

試験等 講義期間の中頃と終盤に2回の確認テストを行う。
試験のフィードバックの方法 確認テスト終了後、模範解答の説明を行う予定。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 次週に予定されているテーマに関して、教科書の該当部分を熟読し、予習をしておくこと（1時間）。 講義後は、内容について復習して理解をしておくこと（1時間）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 はじめての生化学（第2版）／平澤 栄次／化学同人／2100／9784759815894／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 【第2版】これだけ！生化学／稻垣賢二／監修 生化学若い研究者の会／著／秀和システム／1600／9784798064109／冊子版 スミス基礎生化学／J. G. Smith／東京化学同人／2400／9784807920150／冊子版 〈参考書〉『【第2版】これだけ！生化学』 〈参考書〉『スミス基礎生化学』
オフィスアワー 質問は講義時間中に隨時受け付ける。
連絡先 kinagaki@okayama-u.ac.jp
留意事項

生物学 I					単位数	2単位
授業コード	12600	科目ナンバーリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	杉本 幸雄					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）	1 講義／3 実験・実習・実技					
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	<p>本授業はヒトを中心に身体の成り立ちや身近な病気について学ぶことで生命系の成り立ちを理解し、健康的に生活するための知識を修得するすることを目的とする。</p>					
アクティブラーニングの実施内容	発見学習					
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)					
1	①ヒトの身体の仕組みを説明することができる					
2	②身近な病気から原因を判別できる					
3	③健康的な生活を実行できる					
4	④病気になった時に的確に対応できる					
5	⑤社会と医療の関係を理解できる					
成績評価の基準	対応する到達目標の番号					
1	レポート 70% (①、②、③)					
2	定期試験 30% (①、②、③)					
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目	実務あり					
実務経験の授業への活用方法	研究員として医薬品開発分野で新薬開発業務に携わっていた経験から、医療問題の構造を多角的に取り上げ、学生に実践的な健康問題解決への取り組みを促す。					
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
1 健康とは						
2 ホルモンの役割と病気						
3 骨と筋肉の役割と病気						
4 心臓の役割と病気						
5 血管の役割と病気						
6 血液の役割と病気						
7 腎臓の役割と病気						
8 胃の役割と病気						
9 腸の役割と病気						
10 肝臓と脾臓の役割と病気						
11 肺の役割と病気						
12 感覚器の役割と病気						
13 鼻の役割と病気						
14 皮膚の役割と病気						
15 免疫の役割と病気						

試験等 定期試験、レポート
試験のフィードバックの方法 試験終了後に模範解答を公開する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし
オフィスアワー 質問は授業時間後に教室で直接受け付ける。
連絡先 sugimoto@okayama-u.ac.jp
留意事項

生物学 I I					単位数	2単位	
授業コード	12610	科目ナンバーリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第2期		
担当者氏名	小林 謙一、長濱 統彦、吉金 優						
時間割備考	食品栄養学科の1年生は履修することが望ましい。						
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）	3 実験・実習・実技						
担当形態	複数						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
生物学は、自然科学における重要な学問領域となりつつある。それは、生命科学や生物多様性など我々を取り巻く諸問題が、「生命」の本質に直結しているからである。したがって、生物学の基礎的な知識を修得しておくことは、現代社会で生きていく上で必須である。そこで本講義では、「ヒト」の生物学、そしてヒトの命を支える「食品」の生物学、そしてヒトをはじめとする生物全般が生きている「生態系」に焦点を当て、それらの基本的知識を学び、「生命とは何か」について科学的に説明できることを目的とする。							
アクティブラーニングの実施内容		体験学習					
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)					
1	人体の構成を説明できる。		知識・技能				
2	生体の構造と機能の連関を説明することができる。		知識・技能/思考・判断・表現力				
3	ヒトについて、生物界の生物の一種としてとらえ、説明することができる。		思考・判断・表現力/主体性				
4							
5							
成績評価の基準		対応する到達目標の番号					
1	受講態度 (15%)		1				
2	レポート (50%)		2/3				
3	期末試験 (35%)		1/2/3				
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
(小林担当)							
1. オリエンテーション：本授業の趣旨と授業の概要について説明する。 2. 生物と生物学：生物学の成り立ちから歴史について説明できるようになる 3. 生体と細胞の構造：内」と「外」の概念を通して生物の定義を理解できるようになる 4. 免疫について（1）：「自己」と「非自己」の科学について理解できるようになる 5. 免疫について（2）：免疫の仕組みや病気について説明できるようになる 6. 進化の仕組み：突然変異や種分化の仕組みについて説明できるようになる 7. 老化と寿命とヒトの病気：病気のメカニズムを生物学的に考えることができるようになる。							
(吉金担当)							
8. 食品とは？ 9. 生物（農産物、畜産物、水産物）とは？ 10. 食品（生物）が食卓に並ぶまでを考える 11. 遺伝子組み換え作物、ゲノム編集食品とは？							
(長濱担当)							
12. 菌類とはなにか？きのことはどんな生物か？（学外でのきのこ採集を含む） 13. きのこの分類と見分け方（学外でのきのこ採集を含む） 14. きのこの生態とその生態学的な役割について（学外でのきのこ採集を含む） 15. 菌類の進化と多様性におけるきのこの位置づけについて							

試験等 16週目に筆記試験を行う。さらにレポートを提出する。
試験のフィードバックの方法 試験終了後に解説する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 (予習) 講義テーマに関する部分を、授業前に簡単に学習しておく（約20分） (復習) 授業後には、manabaで復習課題に取り組む（約20分）
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
毎回、プリントを配布する。
オフィスアワー 小林 月曜日4時限
連絡先 k4kobaya@post.ndsu.ac.jp (小林) nghm@post.ndsu.ac.jp (長濱) yyoshikane@m.ndsu.ac.jp (吉金)
留意事項 12回～14回の授業は、11月3日「土曜日」に集中講義（10:00～15:00）として、岡山市立少年自然の家 (http://www.oka-shizennoie.com/page01.html) におけるきのこ採集および観察、講義（現地集合。現地までのバス代が往復1600円程度と保険料がかかります。バス停から自然の家まで片道徒歩35分。小雨決行）を行います。これに参加可能な学生のみ履修するようにしてください。ただ、これに欠席しても総欠席数が5回を超える場合は単位資格は残ります。

科学史 I	単位数	2単位			
授業コード	12620	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	九鬼 一人				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要	<p>科学史では一、科学と宗教のかかわり、二、科学と現代社会のかかわり、ならびに三、科学の方法論的特質（実証主義）について学びます。一として、近代の科学革命を促した宗教の影響・進化論とキリスト教世界観の問題をとりあげ、現実の科学史は科学と宗教の対立史観で捉えられないことを解説します。それをつうじて幅広い教養を身につけ、表現力・思考力を培うことを目標とします（OPとの関連）。二として、科学者として現代に生きること・核物理と科学の倫理を扱い、学生諸君とともに現代科学のあるべき姿を考えます。三として、実験・観測の方法論的問題に関連して、ケプラー・ガリレオ・ニュートンによる数的処理の実例等を紹介しつつ、現代科学のトピックも取り上げながら科学的精神の独自の「実証性」を浮き彫りにします。ひいては、科学がもつところの「実証性」について、理科教育にも資するよう学ぶことにします。原則として、教材はインターネットの掲示板で確認できるようにします。</p>				
アクティブラーニングの実施内容	問題解決型学習				
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)				
1	西欧において、科学の発展を促した一つの要因は、キリスト教の信仰であったことを記述できる。 知識・技能／思考・判断・表現力				
2	西欧近代科学において時代が下るにつれ、「実証性」が重視された結果、生じた「科学と宗教のちがい」、もしくは科学の宗教からの離脱について説明できる。 思考・判断・表現力				
3	科学と宗教の関係、科学の倫理について、主体的に基本的な問い合わせを提示できる。 主体性				
4	レポートの添削をつうじ、表現力・思考力を向上させることができる。 思考・判断・表現力				
5					
成績評価の基準	対応する到達目標の番号				
1	毎回の小レポート 毎回の小レポート評価のさい、知識を応用して表現力・思考力が、どのように発揮されているかを重視します。 63点 1/2/4				
2	期末レポート 科学史のトピックについての論述問題。科学と宗教の発想の関係を踏まえつつ、科学のあるべき姿を考察できているかを評価します 30点 1/2/3				
3	英文和訳（フランクリポートの翻訳）の問題をつうじ、科学史的知識の把握度、翻訳の巧拙を中心に、異文化理解力を評価します。 7点 4				
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
<p>授業にさいして携行するもの 資料(村上陽一郎『西欧近代科学〈新版〉』)のコピー (pdfは掲示板にアップする)。教科書(村上陽一郎『科学者とは何か』)は科学史を俯瞰するために用いる)。掲示板で毎回配布する教材 (pdfで回ごとにパッケージにして各回配布する)。授業初回に、予習・復習ワークブックを配布する。なお提出したワーク・課題は教育的見地から、相互に閲覧可能とする回があります。あらかじめご了承ください。</p> <p>授業方法 対面授業を基本とします（コロナの感染状況で変わることがあるかもしれません）。資料を見ながら、PCを活用しつつ授業を行います。</p>					
<p>◆イントロダクション</p> <p>1. 前近代の科学・近代の科学・現代の科学。 全体のオリエンテーションをします。自然をどう捉えるかの意見交換。</p> <p>◆科学と宗教のかかわり (1) ・近代科学への宗教的動機づけ 2. 地動説と新プラトン主義。 3. ケプラーとオカルト。火星の公転半径を計算する。スマホ使って指数計算をします。 4. ガリレオ・ニュートンの宗教観。</p> <p>◆科学の方法論的特質（実証主義）・近代科学と実証主義 5. ガリレオの月スケッチ。じっさい月のスケッチを描き、写メにとって提出。 6. 斜面の実験と加速度運動。 7. ニュートンによるケプラー法則の解明。ブレイクの版画についての意見交換。</p> <p>◆科学と宗教のかかわり (2) ・聖書と進化論 8. ダーウィンと宗教。 9. 聖書の解釈史・その真理。アンソニー・ウェ斯顿の聖書使用についての問い合わせに答える。 10. その後の進化論と世界観。神の存在証明・人間原理の動画。</p> <p>◆インターネットミッション 11. 高木仁三郎と宮沢賢治。パワポで授業をする。</p> <p>◆科学と現代社会のかかわり・現代科学と倫理 12. 核物理の歴史。 13. フランク・リポート。英文和訳のテクニックを磨くために課題を提出し、各自見せ合う。 14. 科学者の反核運動。twitterの情報処理。</p> <p>◆現代の科学 15. 実存の真理と科学の真理。現代物理学のBlu-ray視聴。裸の王様の話についての意見交換。</p>					

試験等 期末レポートとして、近代科学史のトピックについての論述問題を課す。なお学期に一回、英文和訳のレポートを課します。
試験のフィードバックの方法 manaba folioに英文和訳の模範解答を掲載する。期末レポートは添削したものを、各自のmanabaのコレクションにて配布する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 〈予習〉この授業では、manabaを利用します。manabaをつうじて授業に利用する教材を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握してください。予習のポイントは予習・復習ワークブックに記載されています。 動画を視聴する回は、授業前に動画のURLをmanabaに掲載します。 manabaは履修登録後の次の日から利用できるようになります。（予習30分が望ましい。） 〈復習〉配布した教材の事項をできるだけ暗記して、次の授業に臨んでください。またmanabaのコレクションに記入されたコメントを閲覧し、反省材料としてください。（復習30分が望ましい。） ◆なお毎回、予習・復習ワークブックをチェックし、学生の授業に臨む姿勢を確認します。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 科学者とは何か／村上 陽一郎／新潮社／1500／9784106004674／冊子版
<必携書> 『科学者とは何か』、村上陽一郎、新潮社
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。資料は紙媒体で一括して授業ごとに配布する予定です。資料を含めた教材は、manaba folioからダウンロードできるようにする予定です。また初回に予習・復習ワークブックを配布します。
オフィスアワー 情報伝達その他は、manaba folioを活用するので、掲示板に注意してください。質問は掲示板・コレクション・メールで受け付けます。
連絡先 s8185@m.ndsu.ac.jp ネット環境が不安定で一週間見られぬときがあった。そうしたときのために、予備アドレスを掲げておく。 kurashiki-kuki@k7.dion.ne.jp 自宅のアドレス。
留意事項 積極的に掲示板を活用することが望ましいです。

科学史					単位数	2単位
授業コード	12625	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第2期	
担当者氏名	九鬼 一人					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要	<p>科学史では一、科学と宗教のかかわり、二、科学と現代社会のかかわり、ならびに三、科学の方法論的特質（実証主義）について学びます。一として、近代の科学革命を促した宗教の影響・進化論とキリスト教世界観の問題をとりあげ、現実の科学史は科学と宗教の対立史観で捉えられないことを解説します。それをつうじて幅広い教養を身につけ、表現力・思考力を培うことを目標とします（OPとの関連）。二として、科学者として現代に生きること・核物理と科学の倫理を扱い、学生諸君とともに現代科学のあるべき姿を考えます。三として、実験・観測の方法論的問題に関連して、ケプラー・ガリレオ・ニュートンによる数的処理の実例等を紹介しつつ、現代科学のトピックも取り上げながら科学的精神の独自の「実証性」を浮き彫りにします。ひいては、科学がもつところの「実証性」について、理科教育にも資するよう学ぶことにします。原則として、教材はインターネットの掲示板で確認できるようにします。</p>					
アクティブラーニングの実施内容	問題解決型学習					
到達目標	対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体性)					
1	西欧において、科学の発展を促した一つの要因は、キリスト教の信仰であったことを記述できる。 知識・技能／思考・判断・表現力					
2	西欧近代科学において時代が下るにつれ、「実証性」が重視された結果、生じた「科学と宗教のちがい」、もしくは科学の宗教からの離脱について説明できる。 思考・判断・表現力					
3	科学と宗教の関係、科学の倫理について、主体的に基本的な問い合わせを提示できる。 主体性					
4	レポートの添削をつうじ、表現力・思考力を向上させることができる。 思考・判断・表現力					
5						
成績評価の基準	対応する到達目標の番号					
1	毎回の小レポート 毎回の小レポート評価のさい、知識を応用して表現力・思考力が、どのように発揮されているかを重視します。 63点 1/2/4					
2	期末レポート 科学史のトピックについての論述問題。科学と宗教の発想の関係を踏まえつつ、科学のあるべき姿を考察できているかを評価します 30点 1/2/3					
3	英文和訳（フランクリポートの翻訳）の問題をつうじ、科学史的知識の把握度、翻訳の巧拙を中心に、異文化理解力を評価します。 7点 4					
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
<p>授業にさいして携行するもの 資料(村上陽一郎『西欧近代科学〈新版〉』)のコピー (pdfは掲示板にアップする)。教科書(村上陽一郎『科学者とは何か』)は科学史を俯瞰するために用いる)。掲示板で毎回配布する教材 (pdfで回ごとにパッケージにして各回配布する)。授業初回に、予習・復習ワークブックを配布する。なお提出したワーク・課題は教育的見地から、相互に閲覧可能とする回があります。あらかじめご了承ください。</p> <p>授業方法 対面授業を基本とします（コロナの感染状況で変わることがあるかもしれません）。資料を見ながら、PCを活用しつつ授業を行います。</p>						
<p>◆イントロダクション</p> <p>1. 前近代の科学・近代の科学・現代の科学。 全体のオリエンテーションをします。自然をどう捉えるかの意見交換。</p> <p>◆科学と宗教のかかわり (1) ・近代科学への宗教的動機づけ 2. 地動説と新プラトン主義。 3. ケプラーとオカルト。火星の公転半径を計算する。スマホ使って指數計算をします。 4. ガリレオ・ニュートンの宗教観。</p> <p>◆科学の方法論的特質（実証主義）・近代科学と実証主義 5. ガリレオの月スケッチ。じっさい月のスケッチを描き、写メにとって提出。 6. 斜面の実験と加速度運動。 7. ニュートンによるケプラー法則の解明。ブレイクの版画についての意見交換。</p> <p>◆科学と宗教のかかわり (2) ・聖書と進化論 8. ダーウィンと宗教。 9. 聖書の解釈史・その真理。アンソニー・ウェストンの聖書使用についての問い合わせに答える。 10. その後の進化論と世界観。神の存在証明・人間原理の動画。</p> <p>◆インターネットミッション 11. 高木仁三郎と宮沢賢治。パワポで授業をする。</p> <p>◆科学と現代社会のかかわり・現代科学と倫理 12. 核物理の歴史。 13. フランク・リポート。英文和訳のテクニックを磨くために課題を提出し、各自見せ合う。 14. 科学者の反核運動。twitterの情報処理。</p> <p>◆現代の科学 15. 実存の真理と科学の真理。現代物理学のBlu-ray視聴。裸の王様の話についての意見交換。</p>						

試験等 期末レポートとして、近代科学史のトピックについての論述問題を課す。なお学期に一回、英文和訳のレポートを課します。
試験のフィードバックの方法 manaba folioに英文和訳の模範解答を掲載する。期末レポートは添削したものを、各自のmanabaのコレクションにて配布する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 〈予習〉この授業では、manabaを利用します。manabaをつうじて授業に利用する教材を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握してください。予習のポイントは予習・復習ワークブックに記載されています。 動画を視聴する回は、授業前に動画のURLをmanabaに掲載します。 manabaは履修登録後の次の日から利用できるようになります。（予習30分が望ましい。） 〈復習〉配布した教材の事項をできるだけ暗記して、次の授業に臨んでください。またmanabaのコレクションに記入されたコメントを閲覧し、反省材料としてください。（復習30分が望ましい。） ◆なお毎回、予習・復習ワークブックをチェックし、学生の授業に臨む姿勢を確認します。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 科学者とは何か／村上 陽一郎／新潮社／1500／9784106004674／冊子版
<必携書> 『科学者とは何か』、村上陽一郎、新潮社
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。資料は紙媒体で一括して授業ごとに配布する予定です。資料を含めた教材は、manaba folioからダウンロードできるようにする予定です。また初回に予習・復習ワークブックを配布します。
オフィスアワー 情報伝達その他は、manaba folioを活用するので、掲示板に注意してください。質問は掲示板・コレクション・メールで受け付けます。
連絡先 s8185@m.ndsu.ac.jp ネット環境が不安定で一週間見られぬときがあった。そうしたときのために、予備アドレスを掲げておく。 kurashiki-kuki@k7.dion.ne.jp 自宅のアドレス。
留意事項 積極的に掲示板を活用することが望ましいです。

医学III（精神疾患とその治療法）					単位数	2単位
授業コード	12660	科目ナンバーリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	中島 誠					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
精神症状、精神疾患の診断や治療等について理解し、その知識が今後に生かすことが出来ることを目標とする。 1 精神疾患総論（代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む） 2 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化 3 医療機関との連携						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	各精神疾患の概要とその治療などについて説明することが出来る。			知識・技能		
2	提示する事例がどの精神疾患に当たるのか、検討・考察できる。			知識・技能／思考・判断・表現力		
3	提示する事例のアセスメントや対応について検討・考察できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
4						
5						
成績評価の基準				対応する到達目標の番号		
1	中間テスト(30%)			1		
2	期末試験(70%)			1/2/3		
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
1 精神医学とは、精神科面接法と診断への過程 2 精神障害における症状 3 精神科包括治療(1) 4 精神科包括治療(2) 5 総合失調症、統合失調型障害および妄想性障害 6 気分(感情)障害 7 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 8 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群、成人のパーソナリティおよび行動の障害 9 児童・青年期の精神障害 10 精神作用物質使用による精神および行動の障害 11 症状性を含む器質性精神障害 12 高齢者と精神医学、地域社会と精神医療・保健・福祉 13 中間テスト、事例の検討(1) 14 中間テストのフィードバック、事例の検討(2) 15 事例の検討(3) 16 期末試験						

<p>試験等 13週目に中間テスト 16週目に期末試験</p>
<p>試験のフィードバックの方法 14週目に中間テストの解説を行う。</p>
<p>準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 講義前と講義後に必ず各1回は教科書（その回の指定範囲）を読むこと。 講義後に学んだこと、各疾患等のまとめを作ること。</p>
<p>必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 【第3版】学生のための精神医学／太田保之／編 上野武治／編／医歯薬出版／3500／9784263235911／冊子版</p>
<p>必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p>オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける。 電子メールでも受け付ける。メールアドレスは初回授業時に提示。</p>
<p>連絡先</p>
<p>留意事項</p>

心理学I（感情・人格心理学）					単位数	2単位	
授業コード	12905	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期		
担当者氏名	平松 清志						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要	<p>人の心理について、感情・人格心理学の観点から学ぶ。具体的には、感情に関する理論及び感情喚起の機序、感情が行動に及ぼす影響、人格の概念及び形成過程、人格の類型、特性等について理解する。</p>						
アクティブラーニングの実施内容							
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)					
1	感情に関する理論及び感情喚起の機序について説明ができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性				
2	感情が行動に及ぼす影響について説明できる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性				
3	人格の概念及び形成過程について説明ができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性				
4	人格の類型、特性等について説明ができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性				
5							
成績評価の基準		対応する到達目標の番号					
1	筆記試験 (50%)		1/2/3/4				
2	ミニレポート (50%) マナバフォリオを使用して毎回実施。		1/2/3/4				
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目		実務あり					
実務経験の授業への活用方法		担当者自身が臨床心理士として、スクールカウンセラーや大学内「清心こころの相談室」で実践してきた心理臨床経験を活用する。					
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
1 感情・人格心理学の意義 2 感情とは 3 欲求・動機づけ 4 ポジティブ感情とネガティブ感情 5 感情調整と社会性 6 知能と感情 7 感情と心身の健康 8 人格・性格、類型論、特性論 9 人格検定法 10 人格の病理 11 フロイト、S. の人格構造論1（精神分析学） 12 フロイト、S. の人格構造論2（精神分析療法） 13 ロジャーズ、C. R. の人格理論 14 ユング、C. G. の内向・外向、性格類型論 15 ユング、C. G. の人格理論、個性化過程							

試験等 定期試験（筆記試験） 定期試験とは別に、マナバフォリオによるミニレポートを毎回実施。
試験のフィードバックの方法 試験終了後に模範解答を揭示する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 授業後、指定された期限までに、マナバフォリオによるミニレポートを提出すること（30分）。 次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
使用しない（隨時推薦図書を紹介する）。
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書：なし 参考書：中間玲子（編） 2020 感情・人格心理学：「その人らしさ」をかたちづくるもの ミネルヴァ書房 大山泰宏・佐々木 玲仁 2021 感情・人格心理学 放送大学教育振興会 杉浦義典（編） 2020 感情・人格心理学 遠見書房
オフィスアワー 非常勤講師のため、質問等は授業後に教室で受け付ける。
連絡先 hiramatu@m.ndsu.ac.jp
留意事項

ことばと社会					単位数	2単位
授業コード	18030	科目ナンバリング	110Z0-1234-02	開講年度学期	2024年度第1期	
担当者氏名	高阪 香津美					
時間割備考	8/9(1-3限), 19-22(1-3限), 23(1限:試験) 2019年度以前入学生対象。2020年度以降入学生は自立力育成科目A群。					
授業形態(主)	1 講義					
授業形態(副)	2 演習					
担当形態	単独					
研究分野(大学院)						
本授業の概要	日本に暮らす外国人がどのような分野でいかなる課題を抱えながら生活をしているのか、その課題をどうすれば解決することができるのかについて主体的に学び、考えます。また、このテーマは、今、この瞬間も議論がなされ、動いているものであるため、常に、社会の動向に目や耳を傾け、ニュースや新聞記事も扱います。					
アクティブラーニングの実施内容	グループ・ディスカッション					
到達目標	対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)					
1	物事を批判的に捉えることができる。					
2	多文化化する日本社会で起きる様々な事象を説明することができる。					
3	授業内容や自らが調べたことをつなげあわせ、課題解決のための方法を考えることができる。					
4	自分の身の回りで起こっている事柄に関心を持つことができる。					
5						
成績評価の基準	対応する到達目標の番号					
1	小テスト (20%)					
2	コミュニケーション問題に関するグループディスカッションの成果発表 (20%)					
3	日本人住民と外国人住民がともに実施できる防災活動案の作成課題 (20%)					
4	期末試験 (40%)					
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧						
1 本授業の進め方、評価、課題に関する説明、日本語教育能力検定試験、日本語教師検定の紹介、教授者の自己紹介 2 日本に暮らす外国人、多言語・多文化化する岡山県の現状 3 外国人住民が抱えることばの問題 4 「言語サービス」とは 5 日本語非母語話者とのコミュニケーションを考える(グループディスカッション) 6 「やさしい日本語」に関する基礎知識 7 コミュニティ通訳(主に医療通訳) 8 外国人と高齢化 9 外国人児童・生徒に対する教育的課題 (1) 日本の学校 10 外国人児童・生徒に対する教育的課題 (2) 外国人学校 11 外国人児童・生徒に対する教育的課題 (3) 不就学・母語教育 12 外国人児童・生徒に対する教育的課題 (4) 外国語教育 13 日本人住民と外国人住民がともに行う防災活動(フィードバックと全体共有) 14 ゲストスピーカーを招待し、自身の活動内容を語ってもらう 15 今学期の総復習						

<p>試験等</p> <ul style="list-style-type: none">・16回目に筆記試験を行う。
<p>試験のフィードバックの方法</p> <p>小テストについては、実施直後に答えあわせと解説を行う。 期末試験については、模範解答をmanabaで掲示する。 その他の提出物については、授業内でフィードバックを行い全体で共有する。</p>
<p>準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間</p> <p>本授業は集中講義であり、1日に複数回連続して授業を実施する。1日に数多くのテーマを扱うため、予習が不可欠である。また、1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。なお、予習・復習のための準備学習には目安として30分を要する。</p>
<p>必携書（教科書販売）</p> <p>書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p>必携書・参考書（教科書販売以外）</p> <p>書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p>教科書は用いず、資料を配布する。 参考図書については、適宜、授業中に紹介する。</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>質問は隨時、電子メールで受け付ける。</p>
<p>連絡先</p> <p>katsumikosaka@hotmail.com</p>
<p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none">・身の回りで起こっている事象に关心を持ち、常にアンテナを張っておくこと。・小テストをやむを得ず欠席する場合、可能な限り、事前に理由とともに担当者に連絡をすること。難しい場合は事後でもかまわないので、理由とともに翌日までに担当者に連絡すること。 連絡があった場合に限り、別日に小テストを実施するかどうか理由をみて判断する。なお、別日に小テストを受けることが認められた場合でも得点×0.8とする。